京城日報

(明治三十九年八月十三日第三種郵便物認可)

文官任用令改正

文官任用令中改正法律案は樞密院の諮詢を經て愈々十五日公布せられたり全文左の如し（東京電報）

任用令改正要點

自由任用となるべきもの

各省次官、各省參事官、內閣書記官長、法制局長官、警保局長、警視總監、拓殖局長官、貴衆兩院書記官長、各省秘書官

特別任用となるべきもの

製鐵所長官、海外駐剳財務官、製鐵所次官、專賣局長官、國勢院部長、印刷局長、造幣局長、專賣局部長、千住製絨所長、維新史料編纂局長、朝鮮總督府營林廠長、朝鮮總督府專賣局長、臺灣總督府營林局長

銓衡を經て任用せらるべき奏任判任官

第一條 別に定むるものを除くの外左に掲ぐる奏任官は五年以上、判任以上の官に在職して行政事務に從事し判任官五級俸たる者より高等試驗委員の銓衡を經て之を任用することを得

內務省警視、崇神官主事、明治神宮造營局主事、專賣局副參事、同上參事補、主稅局事務官、稅務監督局事務官、司稅官副司稅官、關稅官、監獄事務官、裁判所書記、事務官、遞信副事務官、貯金局事務官、遞信局事務官補、遞信局事務官、鐵道局副參事、鐵道局參事補、朝鮮總督府醫院事務官、同上道警視、同上遞信副事務官、同上遞信事務官補、同上裁判所書記、同上典獄、同上高等土地調查委員會事務局副事務官、同上濟生院主事、同上府尹、同上府事務官、同上郡司、同上島司、同上典獄、臺灣總督府典獄、同上醫院事務官、同上稅務官、同上稅務事務官、同上稅關監視官、同上專賣局監督官、同上覆審法院書記

自由任用より除外せらるゝもの

內務監察官、稅關長、稅務監督局長、鑛務署長、遞信監察官、遞信局長、朝鮮總督府道知事、北海道廳長官、北海道廳內務部長、府縣知事

銓衡委員の銓衡より除外せらるゝもの

第二條 左に掲ぐる奏任官に付ては前條の規定を適用せず

各廳書記官、內務監察官、海外駐剳財務官、稅關長、稅務監督局長、鑛務署長、遞信監察官、鐵道管理局長、朝鮮總督府營林廠長、同上稅關長、臺灣總督府警視、同上警務部長、同上府事務官、北海道廳部長（消防部長を除く）、各府縣各部長

改正任用令條文の要點

第四條 陸海軍將官は各其の部內の勅任文官に任用することを得

第五條 奏任文官は左の資格の一を有するものより之を任用す

一、文官高等試驗行政科試驗に合格したるもの

一、文官高等試驗外交官試驗に合格し二年以上外交官又は領事官の職にありたる者

一、二年以上判事檢事の職にありたるもの

一、裁判所構成法により判事又は檢事たる資格を有し二年以上朝鮮判事又は臺灣判官の職にありたるもの

一、二年以上奏任教官の職にありたるものは文部省部內の奏任官に任用する事を得

第六條 判任官任用略す

鐵道省官制

鐵道省官制十五日左の如く發布せられたり（東京電報）

第一條 鐵道大臣は國有鐵道及其附帶の業務を管理し地方鐵道及軌道を監督す

第二條 大臣官房に於ては通則に掲ぐるものゝ外職員の養成保健鐵道衛生に關する事務及鐵道業務に關する研究を掌る

第三條 鐵道省專任參事官は三人專任書記官は十七人を以て定員とす

第四條 鐵道省に左の六局を置く 監督局、運輸局、建設局、工務局、工作局、經理局

第五條 監督局に於ては左の事務を掌る

一、地方鐵道の免許及軌道の特許に關する事項

二、地方鐵道及軌道の監督に關する事項

三、地方鐵道の補助に關する事項

四、南滿洲鐵道株式會社の鐵道及航路の監督に關する事項

第六條 運輸局に於ては左の事務を掌る

一、國有鐵道の運輸及其附帶業務に關する事項

二、國有鐵道と他の鐵道軌道及航路との聯絡運輸に關する事項

第七條 建設局においては左の事務を掌る

一、新設線路の調査計畫に關する事項

二、新設の線路及建設建造物の工事に關する事項

第八條 工務局においては左の事務を掌る

一、土地線路及建造物の保存管理に關する事項

二、線路及建設物の改良に關する事項

第九條 工作局に於ては左の事務を掌る

一、車輛の製作保存及改良に關する事項

二、工場作業に關する事項

第十條 經理局に於ては左の事務を掌る

一、本省所管の經費及諸收入の豫算決算並に會計に關する事項

二、會計の監査に關する事項

三、本省所管の官有財產及物品に關する事項

四、電力の發生及配給に關する事項

三、電力の設備新設及保存改良に關する事項

第十一條 鐵道省に技監一人を置く（勅任とす）

第十二條 鐵道省に專任事務官三十人を置く奏任とす上官の命を承け事務を分掌す

第十三條 鐵道省に專任技師百三十一人を置く（奏任とし內五人は勅任と爲すことを得）技師は上官の命を承け技術を掌る

第十四條 鐵道省專任屬は七百廿六人を以て定員とす

第十五條 鐵道省に專任技手六百八十五人を置く判任とす上官の指揮を承け技術に從事す

第十六條 鐵道大臣は鐵道の建設改良又は工作に關する事務を取扱ふ爲め必要なりと認むる時は地方に事務所を設くることを得

附則

本令は公布の日より之を施行す大正二年勅令第七十五號は之を廢止す（以下略す）

國勢院官制

國勢院官制も十五日左の如く發布せられたり（東京電報）

第一條 國勢院は內閣總理大臣の管理に屬し左に掲ぐる事務を掌る

一、軍需工業動員法施行に關する事務

二、前項の統轄の爲に必要なる事項の執行

三、行政各部統計統一事務

四、行政各部に專屬せざる統計事務

五、統計に關する報告刊行事務

六、內外統計表の交換事務

七、各官廳の統計主任者の召集及會議に關する事務

第二條 國勢院に左の職員を置く

總裁	一人	親任
部長	二人	勅任
書記官	專任四人	奏任
事務官	專任二人	奏任
統計官	專任五人	奏任
技師	專任二人	奏任
統計官補	專任四十人	判任
屬	專任卅二人	判任
技手	專任十二人	判任

前項事務官の外內閣總理大臣の奏請に依り關係官廳高等官中より內閣に於て事務官を命ずる事を得

第三條 國勢院に總裁官房及左の二部を置く

第一部、第二部

第一部は第一條第一項第一に掲ぐる事務を掌る

第二部は第一條第二項乃至第七項に掲ぐる事務を掌る

第四條 第二條職員の外第一部の事務に參與せしむる爲參與を置く

陸軍次官及海軍次官は之れを參與とす

前項の規定に依るの外參與は內閣總理大臣の奏請に依り關係各廳勅任官中より內閣之を命ず

第五條 總裁は所屬職員の統督をなし院務を總理し判任官以下の進退を專行す

第六條 部長は總裁の命を承け部務を掌る

第七條 書記官及事務官は上官の命を承け院務を分掌す

第八條 統計官は上官の命を承け各種の統計を掌る

第九條 技師は上官の命を承け各種の統計を掌る

第十條 統計官補は上官の指揮を承け統計に從事す

第十二條 技手は上官指揮を承け技術に從事す

附則

本令は公布の日より之を施行す

軍需局官制は之を廢す

肩屋の籠 　限汀生

米大統領の新候補者

今や米國に於ては、大統領改選の大政戰が開かれて居る。ウイルソン氏が米國の不文法に依りて、三たび大統領たるに意なきことは明かである。されば彼は何人を後援して、共和黨に對抗せしむべきか。去る十日華盛頓の特電は傳へて曰く『大統領ウイルソン氏は、講和條約及び國際聯盟批准の目的を貫徹する爲め、現國務卿コルビー氏をデモクラット黨大統領候補者たらしむることに決せりこの報當地の確なる筋より傳へらる。大統領は、來月開催のデ黨國民大會に於て、コルビー氏の候補指名を主張するならんと豫期され居れり。而して大統領がコルビー氏を選んで國務卿の地位に据ゑたるは、全く前記の目的を達せん爲めなりしと稱せらる』と。是れ或は然らん。コルビー氏は、曾て進步黨員として、一九一二年の選擧には、故ルーズヴエルト氏を援け、其の後シカゴ大會にて、進步黨が共和黨に合併するに及びて、ウイルソン氏の政策に有力なる後援をなし、去る三月一日（?）ランシング氏に代りて、新に國務卿に任命せられし人、ウイルソン氏にして第三次候補者たる能はず、民主黨が未だ有力なる候補者を得ざるの今日、ウイルソン氏の政策を行はしむる者、ヒッチコック氏にあらざれば、コルビー氏を措いて他に其の人を求むべからず。或は此の電報の如くコルビー氏の出馬を見るに至るやも圖られず。但氏にして民主黨の公認候補者たるに至るも、今日民主黨の頽勢果して共和黨を破るの成算ありや如何（五月十六日夜稿）

總選擧の結果

總選擧の結果は、果して豫想の通りに政府黨の入選が多數であつた。是れは今日の、まだ幼稚なる我國の選擧界に於ては有りさうな事である。唯余は今次の大都市に於ける選擧に見て、兎も角國民の漸く長夜の眠より覺めあることを認めた。選擧の上に於ては、眞正なる意義に於ての勝利でない。危機は後に在る。政府は從來の態度を改め、自ら進んで普通選擧案を提出し、大に外交を刷新して世界戰後の變局に伴なへる經濟問題等を解決すべきである。徒らに與黨の多數なるを恃みて、苟且偸安、以て信を國民に失はゞ、必ず不測の大打擊を受くる日があらう。由來、事の敗るゝはその得意の日にある。政友會たるもの、勝ちて驕らず、愼重熟慮、時勢の進運に應じて、平和のうちに日本の改造を圖るべきである。（五月十四日夜稿）

加藤高明子に望む

加藤高明子は、憲政會總裁として、原首相と相對立すべき地位にある。加藤子を原氏に比すれば、其の人物、閱歷及び伎倆に於て、各一長一短、謂はゞ伯仲の間に在る。但余の加藤子に慊らぬことは、子が動もすれば貴族院に議席を有することである。何ぞ早く子爵を辭し、一平民として黨員を率ゐ、原氏と雄を衆議院に爭はざる。余の今氏に望む所は唯だ此の一事あるのみ。（三月十四日夜稿）

ロイド、ジョージ氏

英國の現首相ロイド、ジョージ氏は、グラッドストーンやベコンスフィルドの如き偉人でもなく、主義の人でもない。然し時々刻々に變轉し來る內外の形勢に應じて、巧に機會を捉へ、民心を迎へて、能く難局に處してゆく所に、彼の政略的天才が認められる。其の演說も政敵アスキス氏の雄大なく、文學的哲學的の辭には缺けて居るが、平民的にして俚耳に入り易い。要するに彼は極めて氣轉の利く、機敏の才ある、實行力に富む、組織的技能を有する野武士的人物である。彼が統一黨首領ボナー、ロー氏（國璽尚書兼下院內總理）と相提携し、世界の變局に應じて、縱橫、克く大英國を率ゐて行くところは、實にエライ物である。何といつても英國は濟々多士、其の世界に稱せんとするは決して偶然でない。今日世界列强の中にて、政治家、外交家には英國ほど其の人物に富み、實業家方面にも多いかと觀察せられる。

神仙爐 　剣花坊

一人角力（二）

一人角力の男は、いよく仕切の構を宛然眞物のやうに見せる、見物は拍手する。それから行司の身ぶりが、また見物を笑はせて、いよく／＼氣合が合つて立上る。エッシ／＼とはげしく取組み、双方の得意の手を見せて、くる／＼と廻り、こても一人とは見えない働き、兩力士を目の前に見るやうだ。見物は手に汗握つて荒馬を呼び、小柳を呼ぶ、この時一人角力の男は、ちよつと行司の身ぶりをして、『お客樣、錢を投げて下さい、荒馬の方が多ければ荒馬が勝つ、小柳が多ければ小柳が勝つ』といふ、周圍の人山も朋うなれば、行掛りだから小柳贔屓は小柳へ、荒馬贔屓は荒馬へと錢を投げる。更に組合んで錢の多い方は美事に勝ち、錢の少い方は見苦しい負方をする。それから投錢が同位と見ると、引分にしたものださうな、隨分人を食つたものだが、江戸時代の呑氣な空氣が立派にそこへ浮かんでゐる。

雅子を泣かして 　布施生譯

（九十三）

『實はそんな事では無いかと思ひまして用意は致して參りました』と言ひながら雅子は筆を取上げた『ようございます、屹度囘復ましてから譯を致しませう、あの三萬圓で宜しいのでございますか』『謹許か貴下をつけておいて下さいな』外に色々入用も有りましやうから九郎は何氣ない風をして言つては居たが、しかし其眼は燃ゐるやうな色をして雅子の姿に注いでゐた、從來九郎は雅子をまだ小兒臭くのみ思つてゐた、今日看ると雅子はもう批點の打處もない位に成熟して品格も出來れば力も附き前には無かつた重味さへ具へてゐた『切手は貴下充にしておきますよ』雅子は一旦決斷がついてからはもう沈着拂つたものであつた、『ようございますか』九郎は點頭ながら『宜しい』と言葉短に答へると雅子は手早く小切手を認めて吸取紙をあてゝしまふといつに其儘立上つた『さあ何卒之を兄樣に』と言ひ乘て暇乞ひの握手をしやうと手を指し延ばすと九郎はつかつかと進み寄たが突然其手を自分の兩手でしかと捉へた、そして情に堪へないやうな聲を出して『雅ちやん』と呼かけながら引寄せて抱緊めやうとする途端不圖室の外に案內を請ふ聲がして程く間もなく戶があいた。

這入つてきたのは宿の取次であつた、九郎に向つて『御婦人のお客樣がお入來になりました』言畢つて引下らうとする直ぐ其後からごついしりした姿を見せたのは、さあ大變、雅子に苦手の大友末亡人であつた。

質の惡い末亡人の來るのは九郎に取つて不意な事でも何でもなかつた、昨日雅子に呼び出しをかける時九郎は末亡人にも手紙を出して、明日午後龍倫へ歸らうとする前に一寸會ひたいと言つてやつた、時刻さへ指定しておいた事とて九郎は今迄雅子と話中も末亡人の來るのを今か今かと待構へてゐた次第であつたが、變な間柄になつてる雅子と此人と一寸這入りかねる所であつたら普通なら末亡人も直ぐ遠慮したであらうに、案外平氣な態度をして雅子を看附けて居た、取次がまだ自分の爲に戶をあけて居てくれるので仕方なく室の中に進み入つたが其顏には流石少し躊つた色が浮ぶと共にまごついた様子も見えた。

『お一人だと伺つたんのですから』と語の雅子には眼もくれず末亡人は九郎に挨拶すると九郎は『いやそれ二人はよく出遇ふんでしよ』と言つた、雅子は平生に似合はず言葉もなく雅子さんは毎時僕等のされた事を後始末するのでしてね——雅子さんといふ人は一寸用談で雅子さんが來てゐられたんです、なに僕は、いや僕さ雅子さんとは謂はゞまあ保護人みたいになつてゐるんでさあ——だから九郎は末亡人の顏を眺めて末亡人も心の中で容赦もなく雅子を睨めてゐる樣子を見てとつた。

朝鮮川柳發表 　剣花坊選

○ 龍山 芳一 春

支那の路になりぬる村白衣行く

朝鮮の田舍娘に赤い牛

あたまこは總が離れたやうな朝

○ 京城 暉 華

元植の新聞讀んでやりたがり

朝鮮の春を知らない人ばかり

○ 鎮南浦 可敷

殺さぬに死刑は無理と姜宇奎

虎狩の案內虎に似たる男

○ 太郎 不如坊

大邱が來たと鷄立ちすくみ

詠史川柳を募る

朝鮮川柳は多數の投句を得て感謝します、只だ題に苦しんだ爲め、暫く休題になつたのを遺憾とします。この次は詠史の川柳です、これは朝鮮に限りません、日本歷史でも、支那歷史でも、西洋歷史でも、自由に題にして下さい。東京市芝區西久保巴町二番地井上剣花坊宛直接に投吟を願ひます、入賞には剣花坊揮毫の短冊を呈します。

注意 戲句お孫樣かた皮きかれ（日本）、旅行に手拭むしろを敷き並べ（支那）、チックで分ち元祖なり（西洋）、投句者は必ず住所姓名明記の事

齋藤總督兼坊三氏に告ぐ 作句姓名記念『京城日報柳壇』（朝鮮川柳發表）逓知されたし

株式名義書換停止公告

大正九年六月一日ヨリ定時株主總會終了ノ日迄株式名義書換停止致候

大正九年五月 　大日本製糖株式會社

即席活用 五分間演說集 マダ世間に全くない

日本雄辯演說學會編纂 慶應大學專攻青木先生監修

◎本書の內容は社會一般の宴會、會合、園遊會、開式の席上に於ける演說、祝辭、答辭の例を集め其他青年會の發會集會講話の場合は勿論、歡送別、入營歡迎、招待祝賀、當選就任退任表彰開業結婚葬禮懇親會等の演說、祝詞答詞を假令ば要領よく日本語九分に英語一分をまぜて少しも英語を知らぬ人でも五分十分の短時間でわかる樣說明したる必ず得難き內容完備の良書なり、三六判三百五十頁餘の美本定價金九十五錢の處特價金八十錢希望者は一冊送れとハガキで申込めば代金引換郵便で送る尚金注文は送料共で金八十六錢也

◎發行所 東京市牛込區通寺町廿二 振替東京三弍九四〇番 竹生英堂

移轉廣告

新住所 京城黃金町四丁目一〇一番地

土木建築請負業 荷福仁助 電話一〇〇九番

專賣特許 オゾーン發生機

あなたの居室にオゾーン發生機の設備ありや

肺病、喘息、百日咳、鼻閉塞病 其他呼吸器疾患に惱める人 不眠症、神經衰弱、食慾不振の人 オゾーンで救はる（說明書無代進呈）

發賣元 オゾーン化學工業株式會社 販賣店 京城長谷川町 米田公司 電話二五三〇番

大日本人造肥料株式會社朝鮮總代理店 三井物産株式會社特約販賣店

米穀 雜穀 肥料 鮮滿物産 輸移出入並ニ委託賣買

釜山大廳町一ノ四六 越田市太郎商店 電話長七七七番 電略（コシ）（コ）

眼科 內科 荻原醫院

京城旭町三丁目九十一番地（壽座隣り） 電話一二六七番 荻原長藏

法人登記

京城金融組合登記事項中變更 理事齋藤八ノ正九年四月參拾日辭任 金化郡金化面邑內里四百八拾番地 金化金融組合理事 大正九年五月拾參日登記 京城地方法院金化出張所

武俠世界 臨時增刊 相撲畫報 夏場所號

いよく出でたり素的な評判!!……（本誌には大懸賞募集あり）

口繪 其の美麗なる三色版を見よ更に、精巧を極めし挿繪頁の口繪寫眞を見よ、悉く之れ專任寫眞技師が約半歲に亘つて、苦心撮影せる珍品にして座ながら本場所角力見物を爲すの感あり

記事 本誌獨特の天下一品の面白い物ばかり附錄には四十八手の解說と各力士入幕以來の星取表。五月場所の好取組と勝負豫評は百發百中の定評ある、評判記事その他の山の如き讀み物悉く

東京市芝區愛宕下町二丁目一八 武俠世界社

富國醬油 醬油界の一大革命 醬油の名素

本品は子女も至極容易に一斗の醬油を二斗に增石出來醬油固有の色も味も香も更に變化のないのが本品發明の長で衛生上にも絶對無害也故に一般家庭は更なり業に飛ぶ程賣れるも當然論より證據毛に角く見本御申込の一度御試用を乞ふ▲特約店大募集照會郵稅要三錢

日本發明株式會社 東京市京橋區木挽町一丁目 電話京橋四〇三七番 振替東京七二七〇番

世昌印 縫針 製造發賣元 山本製針工場 京城本町二丁目 特約店御希望の向は至急御申越されたし

燦たり六月號 少女の友

小說 空想の子……岩下小葉

探偵小說 眼玉で勉强……淺原鏡村

關西各地愛讀者大會記

哀話 卒業證書……關西記者

哀話 おさよ……みどり

歷史小說 鎌倉の孝女……池田芙蓉

探偵小說 疑問の指先……加藤朝鳥

東京愛讀者大會豫告

面白い六月號 日本少年

燈台ロマンス 銚子の燈台より……松瀬燈台長

少年小說 祭の夕……花背

歷史小說 青澄山の夜……有賀梅溪

關西各地愛讀者大會記

少年小說 桑畑の中（紅淵）

滑稽小說 喜多內の冒險……池內士行

合併漫畫 何處へ行く……岡本一平

幽靈を見た人

お芋の四人

樂漫畫童話

滿載

（小說）鐵拳

（新詩）鮎釣り

（童話）なまけもの

重要問題審議
國際聯盟理事會に於て決定

日本に於て深憂ともいふべき問題を簇さんとする二個の事項は國際聯盟會議に於て近く決定發表せらるべし即ち第一は今次米國が條約批准拒絶の爲め延引せられたる第一回國際聯盟會議に於て米國の加盟するや否やに拘らず愈々本年八月米國大統領ウィルソン氏の名に依り召集され對獨條約調印國二十三箇國對國際聯盟國十三箇國合せて三十六箇國の代表者出席すべく開催の場所及び確定期日會議事項等は本月十四日羅馬に於て開かるべき國際聯盟理事會に於て決定さるべし然れども一般に想像せらるゝ所に依れば開催地はゼネバに決定すべく期日は會議事項を豫め各國に通知して十分なる考慮の時日を與へむとの理事會の意嚮なれば多分十月以降ならんと觀測せらる第二は右會議の最も重要なる議題は軍備制限問題にして之に關しては聯盟理事會は豫め各國專門家より意見を徴する必要を感じ軍備委員會編成の爲め委員選擧其の他の事項に就て目下研究中なるが之も羅馬に於ける國際聯盟理事會に於て決定さるべしと（倫敦電報）

犯罪人公文手交

協商國側は所謂戰爭犯罪人なる者の氏名を記載したる新しき公文を獨逸に手交せり右公文は取調べの爲めアリオナスに廻附せらるべく其中不正確なる多數の氏名を見るも今回の分は前回の分と特に異る所なく法律的證據を缺ぎ又所謂犯罪事項に就き稍詳細の記述を爲せるのみ尚新公文中にはヒンデンブルグ及びルーデンドルフ兩將軍あり皇太子の名を含まず（伯林電報）

カランザ軍戰死

墨西哥來電＝カランザ軍三百名はアグサリーの東南に於ける戰鬪に於て戰死せりカランザを首め其の他も同樣の運命に陷りたるものに非ずやと懸念さる（チチー電報）

在墨外人死亡數

最近米國上院外交委員會の發表する所に依れば一千九百十一年より今日に至る迄に墨西哥革命の爲めに死亡したる外人の數左の如し（倫敦電報）

米國人百十七名▲西班牙八十九名▲支那人四百七十八名▲亞拉比亞人百十一名▲英吉利人三十八名▲伊太利人十六名▲佛國人十九名▲日本人十三名▲其他外國人五十八名合計一千一百四十四名

日英同盟と濠洲

濠洲政府藏相ワット氏は『日英同盟繼續に就ては英本國は濠洲の意見を聞くを要す』と言へり濠洲にて日英同盟反對熱熾なる折柄注目に値すべし（倫敦電報）

市民權を附與せよ
亞細亞人に對しシ博士の演說

京都同志社大學講師シュリッツ博士は米國南部社會學大會に於て講演を試み國際的友誼關係を維持するの利益を主張し米國に於て適法に居住する一切の亞細亞人に對して市民權を附與し其の他國民に對する同樣の待遇を與へんことを提唱せり（華盛頓電報）

排亞細亞案附議

カリフオルニアの排亞細亞同盟會は十一日桑港に開會加州選出議員インメン氏例に依り議長となり排亞細亞に關する議案を附議すべきが大勢は大に變化し議長の意見を贊成する者少き模樣なるも俄に樂觀を許さず（桑港電報）

波蘭軍善戰
敵の二箇大隊を俘虜とす

過激派軍は十日北京及び南方より新鋭軍の增援を受けデリエベル河を渡りキエフ附近を守備せる波蘭軍陣地を猛襲せるが波蘭軍能く陣地を固守し且つ敵の二箇大隊を俘虜とせり尚ほ過激派飛行機はキエフに爆彈攻擊を行ひたり（ワルソー電報）

殘存航空隊解散

獨逸の運命を想ひ露國に對し波蘭の攻勢に就ては疑問を以て之れを見つゝありと（伯林電報）

露國通商斷絶

コッペンハーゲン來電に曰く丁抹委員と露西亞委員との間に於ける勞農露國との通商開始に關する交涉は斷絶せられたり（倫敦電報）

購組主腦者逮捕

勞農政府は莫斯科購買組合の首腦者を逮捕し且つ在倫敦購買組合代表者の任を解きたるが其理由は彼等購買組合は經濟上勞農政府を倒さんと計畫したりと認められたるが故なり（コペンハーゲン電報）

羅國小露獨立贊成

羅馬尼は小露西亞の獨立に贊成したるも英佛の協約を經たる後にあらざれば軍事行動をなすが如きことなかるべしと思惟さる（倫敦電報）

小露軍オデッサ占領

ウクライナの小露軍はオデッサ市を占領したり（倫敦電報）

エリヴァン勞農布告

アルメニア政廳の聞く所に依ればエリヴァン（後部高加索）地方に勞農政治布かれたりと（君士丹丁堡電報）

莫斯科市騷亂

コッペンハーゲン來電に依れば莫斯科市中に騷亂あり諸所に火災起れりと（倫敦電報）

我師團派遣否認

駐獨日本代理大使出淵氏は日本師團若干武裝の下に西伯利に派遣せられたりとの報道を强硬に否認し從來西伯利に駐屯し居れる師團はチエック、スロヴアック兵が愈々撤退を完了し及び滿洲に接近せる地方に於ける政情安定せば直に引上ぐべしと說き日本は曾て露國に對して戰爭を布告し又は戰爭を爲すの意思無しと云へり（伯林電報）

米鐵道經營發表

米國領事は四月二十九日發表の松平政務部長の陳述に關する華盛頓發米國政府の電報を公表せり

米國は東部西伯利及び東支鐵道に關しては千九百十九年聯合國と取極めたる協定即ち同地方の鐵道を經營す（浦鹽電報）

イ市攻擊無根

米國代理公使は非公式にて『徐樹錚氏は恰克圖より出兵し日本と共同してイルクックを攻擊する由事實なりや』と質問せるに對し政府は然る計畫決して無しと回答せり（北京電報）

滿鮮併稱抗議理由

既電の如く支那政府が滿鮮併稱問題に關し日本に抗議せる理由は西伯利の撤兵と否とは日本の勝手なるも東三省は支那の領土にて該地方の安寧は支那政府と該地方の軍民長官とに於て保護すべき責あるものなり夫れに日本政府の宣言に滿洲と朝鮮とを併列するは人民の疑ひを深くし誤解を買易きのみならず不穩當なれば抗議せざるを得ずと云ふにありと（北京電報）

陸氏徐總統默契

雲南貴紛擾に就き廣西派は廣東廣西兩省に於ける勢力確定に全力を盡しつゝありしが最近陸榮廷氏より徐總統に密書を送り商議の結果講和成立の曉は陸氏に兩廣の巡閱使を復職せしめ廣東廣西の督軍は陸氏の推薦に依ること及び兩廣軍隊解散の件に就き默契成りたりと（廣東電報）

岑氏重大罪狀發表決定

上海に在る舊國會議員は十六日午後談話會を開き岑春煊氏の重大罪狀を發表するに決せり（北京電報）

波蘭希臘公領事館設置
臨時議會に提出

波蘭及び希臘に新設さるべき公使館は第四十二議會解散の爲め豫算不成立となりたる結果立消となりたるが右は平和克復の今日最も重要にして殊に波蘭は露西亞と密接なる關係あり希臘はバルカンに於て重要なる國柄なるを以て五大國の一なる日本は速かに該地に公使館領事館を設置すべきは緊急問題にして殊に波蘭に對しては今年四月より外交官を派遣し置くの必要ありたるも豫算の關係上不可能に終り今日に及びたるが臨時議會には右公使館及び領事館新設の豫算を提出し豫算通過と共に直に之が設置に着手する筈なりと（東京電報）

親任式廿四日

天皇陛下には近く沼津御用邸に行幸遊ばさるゝに付き宮內省にては既に御用邸の下檢分を了し其の他諸般準備中なるが御發輦は多分二十五日頃となるべく御用邸に約四十日間御滯在七月上旬一旦還幸、約一週間政務御親裁ありたる後更に日光田母澤御用邸に行幸遊ばさるゝ御豫定なれば關東廳長官より駐英大使に轉任あり林權助男及び山縣伊三郎氏の關東廳長官親任式は其の前日二十四日擧行せらるべしと（東京特電）

國勢院親任官以下任命

十五日國勢院官制公布と同時に宮中に於て親任官以下部長の任命あり職員としては內閣書記官下條康麿氏外十一名の任命ありたり（東京電報）

兩陛下行幸啓

天皇陛下には來る廿五日沼津御用邸に行幸あらせらるゝと御內定ありたるが皇后陛下には來る廿七日東京驛御發車にて沼津御用邸に行啓又卅一日橫須賀工廠に於て擧行の新造艦陸奥の進水式に行啓あらせらるゝ御豫定なり又來る六月二三日頃沼津御用邸に行幸遊ばさるゝ筈なり羅馬尼皇太子殿下は六月中旬御來朝に付き陛下には御對面の爲め一旦還幸遊ばさるべしと承る（東京電報）

國勢院參與任命

國勢院官制公布に伴ない同院の職務に參與する爲め十五日左の如く任命ありたり（東京電報）

陸軍次官　山梨半造
海軍次官　栃內曾次郎
法學博士　花房直三郎
伯爵　柳原保惠

中川男薨去

貴族院議員男爵正三位勳三等中川興長氏は豫て病氣中の所藥石效無く十五日午前九時薨去せり享年六十八歲（東京電報）

救護隊出發

西伯利派遣軍司令官津野少將は中山參謀を隨へ十六日午後一時上野發列車にて露領尼港在留邦人救護の重大任務を帶び同方面に向ひ出發せるが川村元帥陸軍省參謀本部附將官等多數の見送りありたり（東京特電）

秋山大將出發

第一特命檢閱使秋山好古大將は村岡少將以下隨員一同を從へ朝鮮第十九師團管下檢閱の爲め十六日午後五時二十分東京驛發列車にて西下せり（東京電報）

大使親任式期
山縣氏も同時

都合を奉伺し親任式を擧行せらるゝ筈なるが……

新筏安東到著

十五日新筏十臺始めて安東縣に到著せるが之より續々著筏ある見込なり（安東縣特電）

晉州市民大會

晉州廳移轉問題第五回市民大會を十六日公立小學校にて開催當日は內鮮人各業を休み參集する者一千餘名辯士卅名の所感演說あり午後二時散會せるが上京委員八名は二十日出發東上の事に決定せり（晉州特電）

咸鏡南部線開通式
政務總監臨場

既報咸鏡南部線開通式は十六日午前零時半より咸興驛北方地區の廣場に於て盛大に擧行されたるが京城方面よりは京龍方面より參列の來賓の爲め特に十五日夜十時半南大門驛より臨時列車を運轉し接待員一同あらゆる歡待を盡し來賓を滿足せしめたり咸興驛前道路上には枕木を以て趣向せる大祝賀門建られ會場には紅白だんだらの幕を廻らし彩旗を縱橫に交叉したり定刻に至るや爆竹を合圖に擧式伊藤丸山工務所長の開會の挨拶、久保鐵道局長の式辭、工事報告水野政務總監の告示、李咸南知事、王非咸興面長の祝辭等ありたる後閉會水野政務總監の發聲にて天皇陛下の萬歲を三唱し各自胸襟を開いて歡談互に杯を擧げて咸興の發展を祈りたる後更に餘興場に至り模擬店演藝等に興趣を添へ、午後三時散會したるが咸興市民は京龍より參列の人々の爲め自動車を用意し消防及び咸興道の物產陳列所萬歲橋等を案內し、盤龍山より廣袤數十里に亘る沃野を指呼し詳細に說明する處ありたり水野政務總監の告示如左（咸興特派員特電）

曩に起工したる咸鏡線の一部元山咸興間の鐵道線路や既に竣成の工程を竣へ本日を以て其の開通式を擧行するを得たるは吾人の慶賀に堪へざる所なり本道は各道中に最も廣大なる面積を有するに拘らず北鮮の一大富源にして海陸の產物に富み經濟上極めて重要の地を占むるに拘らず從來鐵道の一小部分を除いては交通機關不完全なる爲めに利源の開發未だ大に行はれざりしのみならず文物の進步亦甚だ遲々として頗る遺憾多しとする所なりき是に於て總督府は曩に北鮮交通の大動脈たる咸鏡線の建設計畫を樹て既に南北兩端より其の工事に着手し一部の落成を告ぐる毎に漸次運輸を開始し以て一日も早く交通の便を開き文化の進步を圖らんことを期せり本線は即ち其一部にして之が開通は北の羅南地方の開發に至大の便益を與へ又實に全線開通の數步を進むるものなり希くは官民一致協力して本線を利用し以て產業の開發人文の暢達に資せんことを

東京だより
淡々裡の總選擧
五月十二日　蘇鐵忙人

▲總選擧は空前の淡々裡に終了せり。若し、選擧違犯の尠きを以て國民の政治道德の進步なりとさせば、近き三年の過去は國民道德の空前の躍進を記錄せると言ふ可し。▲堅實なる基礎を有する政府にあらざれば徹底せる政策を行ふ能はずとは政治家の常套語にして、特に政黨擴張に腐心する政客の金科玉條として用ふる所也。然り、徹底せる政策は堅實なる基礎を有する政府によりて初めて斷行せらる可し。是れ間違ひ無き眞理也。而も、今日の日本に於て下院の絕對過半數は所謂『堅實なる基礎』の絕對唯一の條件なりや否や。▲幷は兎も角、政府は豫定の筋書によりて豫定の如く舞臺を組立てたり。唯今後の問題は其の新しき舞臺に立ちて如何なる劇を演ず可きかに在り。所謂堅實なる基礎の上に立ちて如何なる政策を行ふ可き乎に在り。是れ國民の最も期待し同時に最も監視を怠らざるところなる可し。曰く西比利亞問題、曰く對支問題、四十二議會の問題が四十三議會に相續されたるもの比々、而して政府は如何なる新政策を提げ來らんとする乎。▲這次の總選擧は種々の活教訓を吾人に齎せり。政友會の總帥たる原敬、其の統帥たる村野翁が八王子市に於て八並派のために慘敗せる如き、最も特異なる一例にして、其使用せる三多摩壯士の殺伐なる時代錯誤の行動が選擧民の反感を招くに充分なるものありしは偶々その原因を爲せしなる可し。八王子市のみと言はず、政權、金力、暴力等に對する反撥力の皮肉なる曝露は市部の選擧の結果に歷々看取するを得可し。此の冷靜なる判斷力と、公正なる判斷を攪亂せんとする或る種の勢力に對する毅然たる抗心の勃發とは、國民政治道德の進步として吾人が最も欣快に堪へざるところ也。但し此の傾向の際は、また、徒らに口舌擾ふの徒を議政府に送るの弊無きに非ざる可しと雖も、是を只、彼の唯として勢力の前に叩頭し去るものに比して何れぞ。▲又、今次の選擧が吾人に提供したる當選者中青年新進の士の顏ある多きことは深き感銘を與へずんばあらず、副島義一博士の如き、永井柳太郎氏の如き、中野正剛氏の如き、はたまた曾て我社の僚友たりし山崎猛氏の如き其他將來何事かを期待し得可き新人の存するは、人をして新生々の裡に立つの感あらしむ。這個四百六十二頭顱、畢竟、國勢に寄與する所奈何。

商品梗塞
前途成行如何

這回の財界恐慌より商品の滯貨を來したるため京城商界も內地並に地方との間に商品受渡しの梗塞を來し故障を生じ今一段惡化するに至らば事態は由々しき形勢を誘致すべきが現在に於ても京城商人中六月より八九月までの受け引契約をなせる者少からず然るに金融の梗塞と商品市價の底拔けは到底その正當受渡しの實行不可能なるため內地取引先との間に頻りに破談の交涉を進めゐるものあれど內地卸商側も容易に値引並に破談を受附けず此の方の交涉成行きは重大の利害を及ぼし來るべく萬一商約の完全履行を內地側より求めらるゝに於ては內地人側の破產者頻出すべし又地方との取引は落のため受荷を拒むもの受荷をなし能はざるもの多く加ふるに荷爲替の不圓滑を來すあり京城在庫品の荷動き殆んど見るべきものなく商品取引は行き詰まり狀態なりと

京株立會期
七月一日頃乎

創立總會を終了したる京城株式現物市場は今後仲買人の詮衡假事務所の進捗を圖り一方仲買人の許可を受くべき者は豫て手振りの練習を行ふ等開業までの準備に少からぬ日數を要するにつき結局の開業期は七月一日となるべしと傳へらる

實銀開業期

朝鮮實業銀行は十五日を以て第一回拂込を徴したるが當日迄の成績良好なりしを以て更に未拂込者に對し拂込の催告をなすに至るべし同行の拂込總額は百廿五萬圓中五十七五萬圓は京銀株主並に十反有社々員にて引受くる筈となり居れるにつき結局發起人贊成人の引受拂込は七十餘萬圓に過ぎず有力發起人中特殊の增加希望者もあるにつき少數殘株の拂込遲滯は肩替は可能と目され六月中旬迄に創立總會を開き七月一日より開業の豫定を以て創立事務の進行を期し居れりと

現株市場
移轉は不可
某有力者の談

京城現株市場が明治町の一角約九百坪を敷地に內定してゐるのに對し狹隘を理由として他に適地を求むべしとの要求は本町筋の連中により段々唱へられてゐるが

定期取引所に進み得る

京城現株市場は將來取引所となるべきものとせねばならず仲買の四十店もその周圍に設け更に銀行支店郵便局も必要又金融の出來る所もあるそこで理想的に言へば明治町の一角では十分でないかも知れぬ然し乍ら家は建築で幾らでも上に伸び得るのであるから設計のヤリ方で狹い坪數でも十分に利用は出來るのである更に明治町の一角の附近には十八銀行、東拓、日本生命の敷地があり隣接に個人の所有地もあり現在の敷地をその儘擴大する事は困難であらうが明治町の利用は漸次出來て行くに相違ない一體株式の取引市場と云ふものは市の中心で又最も便利な土地を選んで設けねばならぬそれには今の場所は

四通八達で

唯一無二と云つてよい市場の利用繁昌な所であるその九百坪近い土地を捨てゝ他の場所に移されたいと云ふ意見は市場として斷じて排斥せねばならぬ人は市中繁榮の均霑と云ふやうな意味から移轉論を唱へてゐるやうであるけれど株式市場に依つて隣地の繁榮を企圖しやうと云ふ如きは市場を官營か府營かの機關と見誤つてゐるものであらう到底取るに足らぬ說と思ふ

配當金問題

殖產鐵道株 朝鮮殖產鐵道會社は南鮮鐵道會社は群山其他各鐵道會社の合併を決議し總會を開き合併の手續を了りたるが右の中株券を發行したるは殖產鐵道のみにて其他は株式の讓受渡を行はしめたる通知を發したる月末までに何れも第一期株主の申込を請求する事となり合併の關係上株券を發行すと云ふも南鮮鐵道は未だ株券出來し居らず林鐵道は未だ株券の引換へは多からず從つて名義の書替は不可能なり然るに月末の株主總會には何れも第一期配當年八朱內外を附議する模樣に付き配當金は創立當初株主權を得たる者の手に拂はるゝ譯受者は株主總會前に株券の移動により出來を豫期し居らざるに付配當金額頭收委任狀等を徴し居る者少く勢ひ讓渡者と讓受者間に面倒なる交涉を要するとなるは想見するに難からず鐵道會社が株券の引換へを遲らしつゝあるは一部に於て批難を招き居れり

水電經營機關
京電增資か新會社か

京城中の京城電氣會社々長大橋新太郎氏は京電にて計畫中なる漢江上流水電豫定地を視察の上十七日朝東上したるが右水電事業は（一）京城電氣會社の資本金增加により同社にて之を經營するか（二）別個の姉妹會社を設け經營を行ふかの二案あるものゝ如く研究の結果或は第二案の實行となるやに觀測さる唯その時期は財界惡化の際とて尚ほ全く未定なる如し

釜山築港起工式
十九日午前八時擧行

總督府土木部にては十九日午前八時より釜山に於て釜山第二期築港起工式を擧行すべきが其の式次第左の如し

▲午前八時（第一號砲）式場に參集▲午前八時三十分地鎭祭執行（一）修祓（二）降神式（三）獻饌（四）齋主祝詞（五）齋主玉串を奉りて拜禮（六）政務總監玉串を奉りて拜禮（七）土木部長、釜山出張所長、慶尙南道知事等順次玉串を奉りて拜禮（八）神饌を撤す（九）昇神式一同最敬禮▲午前十時（第二號砲）第二棧橋より小蒸汽船に乘船港口防波堤築造位置（雨天又は風波のときは第一棧橋又は第二棧橋北側）に至り寄船に移乘▲基石沈設（一）修祓（二）基石の沈下一同最敬禮式典終了、港內を巡航し（雨天又は風波のときは中止）第二棧橋より上陸解散

總監釜山行

水野政務總監は十八日伊藤秘書官隨行釜山に於ける築港第二期起工式に臨み一泊の上大邱に赴き一泊の上歸城の豫定なるが青木庶務部長も同行すべしと

師團幹部演習
愈々十七日より實施

淨法寺師團長統裁の師團幹部演習は既記の如く愈々十七日より開始されるが十七日は偕行社に演習員を召集し午前九時より師團長は軍隊使用上に於ける原則戰略戰術に就いて說明し同夜より某方面に向け行動を開始すべし演習員は

富塚、堀田、谷村各步兵聯隊長、原田騎兵聯隊長、小室野砲兵聯隊長、

財界閑話

▲這回の財界恐慌は信用の破綻から來てゐるのである▲從つて京城の各銀行が他店の小切手に支拂ひ保證を求むる事とした事も止むを得まい▲信用取引制度の適用は嚴重ではあるが逆轉の……ろか既に破綻してゐるのであるから……▲然し乍ら實際の狀態を見るとドノ小切手にも支拂保證を求むると云ふ事はないやうだ▲銀行も一般も要は振り出し者の信用を保持してゐる間は破綻しない▲勿論京城の小切手はドシ々々通用してゐる▲財界の崩壞たる支那商の決算期もボツ々々やつて來た▲八百萬圓の總價格——これで不況と來たら——▲鮮支商間に綿布解合交涉進捗中との事だつたが怎うも……はしない▲月末までが大事な期間だ

移民申込多し

東拓の本年募集の移民第一種三百戶第二種五十戶は近く募集を一般に發表し夫々手配を講ずる事となりしが既に早くも申込は第一種二種を合せ百六十戶を算したり（東京電報）

中央鐵道開通
北京電報

豪雨の爲め線路に故障を生じ不通となりし中央鐵道西岳郷間は復舊工事漸く竣成し十七日午前より開通を見るに至れり

山梨次官動靜
山梨陸軍

次官は十七日朝九時半大臣秘書官西尾少佐を隨へて來城天然樓に入りたるが同夜軍司令官々邸に於ける宇都宮大將の設宴に臨み十九日朝滿洲に向け出發すべしと

滿鐵社長謝電
野村

滿鐵社長は十六日咸鏡南部線開通式參列の水野政務總監に宛て左の謝電を發したり
新線開通に際し特に臨場を辱ふし感謝に堪へず謹んで御禮申上ぐ

醫院長會議
全鮮官立

醫院長會議は來る二十日より三日間本府第二會議室に於て赤池局長統裁の下に開催さるゝ筈なるが日程は第一日二十日局長訓示指示事項、注意事項、二十一日諮問事項院長提出意見總督及び政務總監訓示を以て終了の豫定なりと

戰史見學團
宇垣中將

の率ゐる陸軍大學戰史見學團は廿日入城の豫定なりしも都合に依り二十一日午後四時四十分著に變更したるが一行中の學生は步兵七十八聯隊同七十九聯隊に分宿する事となれり

殖鐵本社移轉

朝鮮殖產鐵道會社は十六日南大門通り東拓支店樓上にその本社を移轉したり

●醫師試驗合格者　醫師試驗第三部は受驗者九名中合格者四名にして其成績は十七日午後一時發表されしが略位氏名左の如し
李顯源、顏田方、李顯翊、倉田次郎

●醫師證書授與式　醫師試驗は既に終了し其成績も發表されたるが證書授與式は來る十九日午後一時總督府第二會議室に於て擧行すべしと

京城局爲替貯金

京城郵便局に於ける四月中の爲替貯金取扱狀況を聞くに其の受入に在りては內國爲替三十一萬三千二十四圓、外國爲替千一圓、郵便貯金五萬五千百六十五圓、振替貯金三十九萬百六十五圓、遞信官署歲入二十一萬九千三十圓、府公金受入二萬四千八百十八圓にして此の受入總額百一萬二千百四十六圓なり之を昨年同期の六十二萬六百四十八圓に對比するときは三十九萬五千四百九十八圓を增加し又其の拂渡に於ては內國爲替六十八萬四千六百七十八圓、外國爲替千七百六十二圓、郵便貯金五萬二千六百四十圓、振替貯金三百三十九萬七千三百三十五圓、遞信官署歲出六萬五千三百六十九圓此の拂渡總額四百二十萬千五百八十四圓を算し之を昨年同期の四百四十五萬七千五百七十圓に比するときは十五萬七千十四圓を增加したり、以上の外通帳爲替資金等の出納額を加算せば昨年四月分九百六十七萬八千三百二十四圓、本年四月分千八十七萬八千三百七十一圓にして通計百二十萬四十六圓を增加せり

法相事務引繼

十五日宮中に於て親任式を擧げたる兩大臣は直ちに司法省に赴き同省高等官全部を集め原大木兩大臣より一場の訓示挨拶を爲し平沼檢事總長之に對して答辭を述べ事務の引繼を了せり

北京學生登校

北京大學以下の各學校生徒は十七日より登校する筈（北京電報）

公會私會

▲茨城縣人會　十九日午後四時より西四軒町新町南裏赤萩氏別邸に於て例會を開き多數同縣人の出席を歡迎する由尙ほ當日は餘興等あり出席希望者は總督府編輯課（電話一五四）大內猪之介氏宛十八日までに申込まれたしと

▲中央大學々員會大會　中央大學々員會京城支部は今回大邱覆審法院へ轉任せる諸留勇助氏の送迎を兼ね來十八日午後五時より南米倉町京城俱樂部に於て祭年大會を催す出席希望者は大和町一ノ四四安藤部（電話二四二一）へ申込むべしと

人事消息

▲佐々木慶南道知事　鎭海要港部起工式參列の爲め十七日釜山に出張（晉州特電）

▲西村殖產局長　過般來慶尙南道視察の爲め出張中の處十五日午後歸任更に十九日の釜山に於ける築港第二期工事起工式參列の爲め十八日午前九時五十分發列車にて東下廿一日夜歸任の豫定

▲エドワード氏夫妻（米國外國……社長）過般來京城見物中なりしところ十五日午前九時五十分南大門發列車にて東京へ向け出發

▲國分李王職次官　田中同院……三名十七日朝下關發朝鮮の途に就きたるが國分次官は釜山一泊十八日夕歸城す可し（下關特電）

總選擧も濟んだが其結果は既報の通りで野黨側色なしは豫想の通りとは云ひ乍ら野黨の敗方は隨分みじめなものだ▲熊本なんかは今回の政府黨の大勝利で野黨側……政府黨の總攻擊で無慘にも野黨の……聊か意外▲畢竟するに野黨側の袖を枕を並べての戰死は加藤首の努力の足らなかつた事が一因らしい▲之では常に攻勢に立つべき筈の野黨が防守に立たなければならぬと共に政府黨の橫暴は益々甚だしくなる事だらう▲而し政府黨としても慈が却て自殺の時期を早くするかも知れぬからチア▲臨時議會も愈々來月の廿九日からだ其間は恰も盛夏時に雷鳴もあれば驟雨もあらう攻防共に大汗にならなければなるまい▲今次選擧の一奇觀は醫師候補者の概ね落選した事である▲選擧人の脈りは流石のドクトルでも判らぬと見ゆるワイ▲陸軍三太郎の一人仙波中將が選擧五日前始て推薦を承諾し一通の依賴狀も書かねば演說もやらず悠々慥手の儘勁敵土居通一を蹴落したのは較も異彩を放つて居る▲將軍は屈指の雄辯家議政壇上田中陸相との一騎打は頗る花々しいものがあらう▲選擧と云へば米國でも經選君は三度目の大統領候補として選擧場裡に立つ相な▲此方でも政府黨と野黨との激戰が演ぜられやうが▲米國の野黨は日本の野黨の樣に不甲斐ない結果は齎すまいノックス君等が眼鏡を曇らせて猛り立つ事だらう▲それも又大いに見物だ

氣象日報（十七日）

天氣豫報

思想が輸入して印度カブレをなし、今又歐米思想を輸入して歐米心醉者が出來たのである。カブレたり心醉したりするのは本氣の沙汰ではない、切言すれば氣が狂ふたのである。七千萬の同胞は狂人の爲に國家の大本を誤つてはならんのである。

支那カブレ（儒教）

今を距る千五百年前に、支那文明が日本へ渡來して、爾後五百年は殆ど支那萬能主義で事々物みな悉く隋唐の制を採用し、朝廷に於て支那の冠服を御採用になつたことは、宛も今日の大禮服が歐米の大禮服を採用せられたと同じやうで、法律の點に於ても令義解などは悉く隋唐から出て居ります。支那の文明は我邦をして千五百年前から今日までの氣運に遂ぜしめたのでありますが、その時の祖先の考へは如何であつたかといふに、支那へ往かなければ學問は出來ない、文明の民とならうにも、尙又政治家となり、學者となり、各種の事業をしようとすれば先づ入唐しなければならぬと信じて、悉く支那へ往つて學問をしたものです。でその頃は支那の文明に心醉せられて殆ど支那主義であつた爲に、中にも安倍仲麿の如きは臣子の大義を遺却して唐の朝臣となつた例もあり、全然支那を自分の國の如く思惟し、支那の主義を吾が君主のやうに思つた學者も澤山にあつた。その當時たつた一人、遣唐使の命を辭退して「我は學問をする爲に支那へ往く必要はない。日本に於て十分に學問は出來る」と明白に言ひ切つたのは菅原道眞である、而も日本帝國の學問、國學の基礎を確守して、それを世に訴へ、日本の學問を樹立したのはこの道眞であつた。……我々の祖先が支那の學問をして、この學問の風に泥まず、毅然として日本國體の下に學問をするといふ、これが卽ち我をして人格を高からしめ、我が智識を開いて、國家の爲に力を盡す所の動機であるといふことを看破したのが菅公その人であります。菅公が國學の必要を論ぜられた所を見ると、支那へ往きて學問をする必要はない、日本で日本の學問をすれば國民たる者はそれでよい、支那の學問には恐ろしい思想を含んでゐる、之を考へなければならぬ、とは一千年前に菅公が支那思想の害惡を網羅にかけて、國民に示された遺戒である。

「凡神國一世無窮之玄妙者不可敢而窺知、雖學漢土三代周孔之聖經、革命之國風深可加思慮」

實に日本の神國一世無窮の玄妙なることは中々學者などでは知れない、我々と雖知ることが出來ぬ。卽ち上皇室を戴いた大和民族が外國の學問などを輸入して國を富まして來た其玄妙なる點はなかなか學問位ゐでは知れない。假令漢土三代周孔の聖經を學ぶといつても革命の國風に深く思慮を加ふべしであると。この革命といふ語は天命を革むることで、夏の桀王は湯に亡ぼされ、殷の紂王は武王に亡ぼされて命を革めた。それで唐、虞、宋、元、明から清朝まで皆命を革めて、匹夫から出て前の王室を仆して、自分が主になる。漢でも宋でも何でもさうである。孔子孟子の學問を

孝子　渡邊華山

三州田原藩の家老渡邊登は華山と號してゐた、その父を巴洲といふ。巴洲二十年來の持病の爲に身體大に衰弱し、動もすると臥床を纏するに至る。華山は常に枕頭に侍し、湯藥は必ず先ず自ら嘗めて之をすゝむ。父を看病せんが爲に屢々退役を願ひ出たが許されない。そこで已むを得ず、看病の隙々に強ひて出仕をしてゐたが、至孝至順の華山終に病へ臨く。文化十年五月上旬より、引籠りて父の傍を離れず、介抱に餘念もなかつたが、天命是非なく、父の病は次第に募るばかり、同年九月六十歳を一期として終に白玉樓中の人となつた。華山の慟哭悲嘆何に例へん、切々たる思慕の情禁ずる能はず、自ら紙筆を取り遺像に向つて、暫らく父の遺像を描いた、そして之を一室に安置し、三年間黃木綿の喪服をつけて身を慎んでゐた。やがて除服の後に出仕するとき、母の顏色普通ならぬを見れば、緋を着けたまゝ端坐してその母の和ぐを待つ。母その何の故に出仕せざるやと問へば、御機嫌麗しからざる間は出仕し難しと答へたのである。後年華山國事に關して獄に下り、後許されて田原に蟄居中、門人の畫の捷書を發さし、之が爲に擾亂を努むるや、蟄居中不謹愼だと詰る者があつたので、華山は累を候家に及ぼさんことを憂いて自殺した。華山その子に遺書して「不忠不孝渡邊登」と書きした。彼の誠忠、彼の至孝、眞に感歎すべきである。而も自ら不忠不孝を書して居る、この心掛けがあればこそ他人の眞似られない誠忠至孝を致し、今日その遺墨の如何に華山の人格を高きに論想されるではないか。

賢母　曾我兄弟の母

して夫の仇を忘れたやうに取りなしてはゐるもの、雨の夜、風の夜、佗しさに兄弟を膝元に呼寄せ、父が記念の太刀取出して、頑是なき小供の腦に仇討の心を起させるやうに敎育をしたのである。そして十八年目の建久四年五月の二十四日、富士の裾野の五月雨に、首尾よく仇を討たせたのは、

印刷製本遲延に付謝告

祖先崇拜と國民の聲

五百頁一部實價六拾錢　送料拾貳錢

右は五月十日製本出來の筈に候處代議士總選擧の爲め印刷意の如く運び不申候に付止むを得ず五月三十日迄延期仕候依て此段申込の諸君に謝告す

大阪市東區內本町二丁目
有田ドラッグ商會主　有田音松

新西方の面々（上）

優勝旗の爭奪と番附面の入れ替へで

興味を唆る今場所の大相撲

西方の總大將大錦は出羽の海部屋の猛者で當年三十一歳身長五尺六寸體量三十五貫の大兵である大阪の出身で大正四年一月入幕以來トン／＼拍子を以て今日の地位を贏ち得たのである其

最も得意 とする處は左四ツ及び押しである春場所の敗戰に於て脆くも二點の黒星を取り發に張出されたる栃木山は同じく出羽の海部屋の剛者にして當年二十九歳牛頭は栃木にして身長五尺六寸體量三十貫の體格は横綱として

堂々たる ものあり大正四年一月大錦と共に入幕し同じく好成績を取り續けて現地位に邁進したものである之が最も得意とも見るべきものは左四つ及び筈の押しである新西方の花形として名聲嘖々たる常の花は同じく

出羽の海 の秘藏弟子である備前の出身にして當年正に二十六歳身長五尺七寸にして體量二十四貫大正六年五月入幕以來得意の掬投げは無敵である關脇に際涤したる對馬洋は同じく出羽の海の弟子にして當年正に三十九歳漸く

老栃の域 に入りたりと雖も力量猶壯者を凌ぐものがある身長實に六尺三寸にして東西幕内力士中最長身である體量は二十九貫大正三年一月の入幕にして右四つ吊出しは最も巧なるものである小結源氏山は井筒部屋にて

最強者と して知られてゐる敵の總大將たる鳳でさへ源氏山が得意の二本差德利投げには度々惱まされてゐる大正元年一月の入幕で爾來益々其強味が增すものあると雖も國際の體なさが源氏山が最も缺點とする處である

鹿兒島の 出身にして身長六尺二十六貫の體量を有してゐる然し乍ら當年既に卅三歳に達してゐるから前途猶眸々たるものとは云へぬ大いに努力する必要がなくてはなるまい大の里は若松部屋で當年三十歳五尺八寸二十五貫の小兵ではあるが

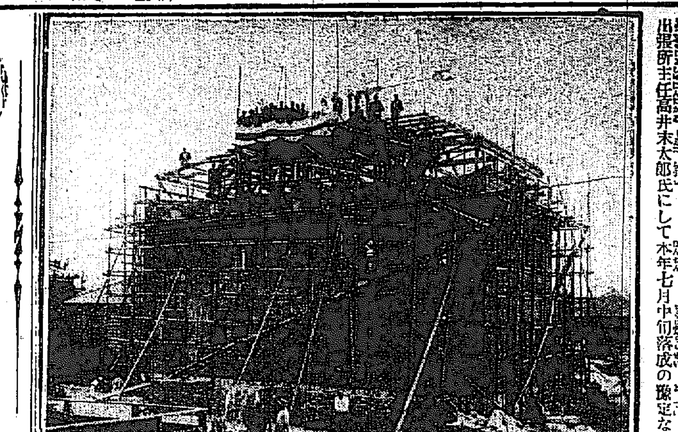
恰も玉椿 の面影を見るが如く押し投げ足癖は强敵と雖も度々取れてゐる津輕の出身にして今日一躍小結の地位を占め東方の人氣者たる大潮と共に並稱され花形として多大の人氣を集めてゐる大正五年一月入幕して今回一躍

前頭上席 に進級した逆鉾は嘗て蒲生の里と稱し井筒部屋の勇士である鹿兒島出身にて當年二十八歳五尺七寸二十四貫の體格の所有者にして上突き逆鉾は最も得意である

本社安東支局上棟式

十三日盛大に擧行

豫て工費約二萬圓を投じて新築工事中なりし本社安東支局は工事順調に進捗したるを以て去る十三日の吉辰を卜し午後三時より勝村本社支配人參列の上同地方の同業者及び有志者を招待して最も盛大なる上棟式を擧行したり工事監督は鹿島組出張所主任高井末太郎氏にして本年七月中旬落成の豫定なり



女奇術師（三）

松旭齋天露の告白

人としての苦しみと藝人としての誇りと變態なその性格と！…

悲劇に終つた戀の一くさり

奇術師の群に居る若い女や、オペラの女優などは、常に華やかな魅惑と、艶めかしい表情を以て、觀客を魅惑しやうとする。さうしてそれは若い男の戀情を刺戟する。だから斯うした女には常に

男が附き纏 ふ。從つて彼女等は到る所で思ひもかけぬ戀の相手に打つつかる。そして哀れな戀の犠牲となつた男を、何等顧慮するところなく倦で次から次へと轉々して歩く。さうした生活を續けて行く中に、彼等は次第に

男性を蔑み 戀に大膽になつて行く。だが然し彼女等もまだ誘惑に馴れない間は、純眞な心を以て男に對する。そして戀の群にかゝつて了ふ。天露も斯うした戀の傷手を負ふて居る女である。それは彼女が十九の時であつた。

天勝一座に 加はつて有樂座に出たことがあつた。ところが舞臺近くの觀客席に、一人の大學生が居て、彼女が手品に使ふハンカチを觀客から借りやうとすると、その大學生が自分のハンカチを差出した。翌晩になると件の大學生は

前夜と同じ 場所に陣取つて居て、又ハンカチを彼女に差し出した。斯うしたことが六晩續いた。斯うなると彼女も不審に思はずには居られなかつた。そして多少の興味を覺けて來たので、その翌晩即ち七日目の晩、件の大學生を物色したが、その晩は

大學生の姿 が見えなかつた。彼女は何だか淋しい氣持になつた。『可哀想な大學生！ どうしたんだらう？』彼女は涙ぐましい氣分に囚はれた。それから間もなく彼の大學生は彼女を訪れて來た。そして『あなたは吉川敏子さんでせう』と問ひかけて、彼女に對する愛と、彼女に對する奇しき因緣を打明けた。

×　×　×

それは一年前のことだつた。即ち彼女が十八の時、妹と若い藝妓と三人で

汐干狩に出 かけたことがあつた。その時彼女は海水浴の浴衣を着て居たが、妹と藝妓は普通の汐干狩の姿であつた。三人は沖に出て夢中で遊んで居た。すると何時の間にか滿ち潮となつて、自分達の身體は

潮の中に圍 まれて居た。急いで歸りかけたが、潮の滿ち寄せるのが、彼等の足よりも早かつた。そして潮は早や腰の邊を浸した。彼女は幸ひに海水浴の服裝だつたので稍自由に水を切つて歩くことが出來たが、他の二人は裾を潮に縛られて歩けなかつた。

彼等三人は 潮に浚はれないやうに相擁して頻りに助けを呼んだ。その時一艘のボートが彼等の方に近寄つて來た。

連絡船上陸客

十九日朝入港新羅丸一二等船客 [illegible] 澁三、井手收毅、武智德重、同歌江、津川定、王田佳人、同光枝、藤丸敬家、山本寶、森本まさ、中村うめ、長瀨武司、久保七造、山崎 [illegible] 次、吉村晟孜、横井增治、中川信一、同剛夫、澤田傳松、田尻熊太郎、同とし（三等五四〇名）十六日朝入港博愛丸一二等船客一等（四一名）弘岸信亮、松村半 [illegible] 平島幸二郎、林淵 [illegible] 子、横井弘夫、大界多岸一、同千ゑみ、同友子、白乃玉、孫畑勁太代子、同若枝、同妙子、小林爵、宮郎、九岡ゆき、西川九霰、高橋勁櫻圭、同久利、有江伊作、藤井秀三郎、八居豐子、同幸三郎、小林太郎、古城はな、大島敏男、松浦雅雄、尾中興一、荒川貞子、上村果平、内藤理三郎、同のぶ、同利格、丸岡太鬼二、村田大一郎、同 [illegible] 行、木村英一、山田淳之助、三等一郎、外人四名、三等（五八〇名）十六日夜入港對馬丸一二等船客一等（九名）加藤朝次郎、湯川象吉、松本政樹、製貞一郎、同かず [illegible]

東京 大相撲夏場所

三日目勝負

東京大相撲夏場所三日目（十六日）の勝負如左（東京特電）

勝		負
太刀光	下手捻り	大の高
鶴ヶ濱	寄り倒し	土州山
御西山	寄り切り	黑瀨川
福柳	寄り倒し	射水川
阿久津川	下手捻り	兩國
藤の川	吊り出し	友の浦
白岩	押し倒し	大の里
大潮	上手投げ	東雲
千葉崎	腰砕け	逆鉾
大錦	吊り出し	大戸平
琴ヶ浦	寄り切り	逢の矢
若湊	浴せ倒し	清見潟
若葉山	送り出し	宮城山
九州山	寄り切り	矢筈山
摩耶颪	素首落し	紅葉川
阿蘇嶽	押し切り	釋迦嶽
源氏山	叩き込み	大鳴門
清瀨川	腕捻り	大門岩
駒泉	打つ遣り	三杉磯
栃木山	押し倒し	小牛田山

▲右の中太刀光に大の高は下手捻りにて太刀の勝▲鶴ヶ濱は右四つ猛烈に寄り倒し鶴の勝▲御西山に黑瀨川は左四つに組み寄り切つて御西の勝▲福柳に射水川は右四つ寄り倒し福柳の勝▲阿久津川に兩國は下手捻りにて阿久津の勝ち兩國の負けは案外なり▲藤の川に友の浦は左四つ吊り出して藤の川の勝▲白岩に大の里は押し合ひ左寄に押し倒して白岩の勝▲大潮に東雲は右四つ上手投げ極つて大潮の勝▲千葉崎に逆鉾は左四つ千葉の寄らんとするや逆の腰砕け千葉の勝ち▲大錦に大戸平は左四つとなり無造作に吊り出して大錦の勝ち

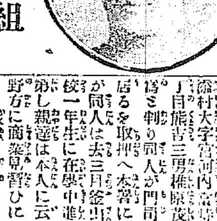
中入後

▲琴ヶ浦に逢の矢は琴一本差し寄り切つて琴の勝ち▲若湊に清見潟清見取つたりに行くを浴せ倒し若湊の勝▲若葉山に宮城山は突合ひ宮城廻り込んとするを送り出し若葉山の勝ち▲九州山に矢筈山は押切つて九州山の勝▲摩耶颪に紅葉川は突き合ひ紅葉の突くを摩耶の素首落し美事極つて摩耶の勝ち▲阿蘇に釋迦は左四つ寄切つて阿蘇の勝ち▲源氏山に大鳴門は大鳴門の突きかくるを源氏の叩き込み極つて源氏の勝ち▲清瀨川に大門岩は大門の左差しを清瀨双に抱へ大門の出鼻を捻り極つて清瀨の勝ち▲三杉磯に駒泉は右四つ三杉の寄るを打遣つて駒泉の勝ち▲小牛田山に栃木山は小牛田押し進むを押倒して栃木の勝ち（六時四十分打出し）

兩國に勝つた阿久津（本社特電）

四日目取組

大の高　能代潟　九州山
湊　琴ヶ浦　土州山
逢の矢　御西山　駒泉
射水川　小牛田山　大鳴門
大門岩　源氏山
阿蘇嶽　大戸平
大の里（栃木山・藤の川）
三杉磯（友の浦・黑瀨川）
清見潟（宮城山・矢筈山）
白岩（東雲・若葉山）
摩耶颪（釋迦嶽・若湊）
阿久津川（大錦・紅葉川）
兩國（逆鉾）
清瀨川（大潮）
千葉崎（鶴ヶ濱）
福柳（大錦）



昨朝入城せる 山梨陸軍次官

千五百圓を詐取して高飛した少年捕はる

釜山府南濱町貿易商中野政次郎方に於て數日前銀行小切手用紙一綴より一枚を裂き取り硝證銀行より千五百圓を詐取したる事件ありて其筋にて犯人内探中先月より商業見習ひとして同店に雇込みたる大分縣北海部郡川添村大字宮河内當時釜山本町三丁目旅館吉三男權原茂生（一八）の所為と判明し同人が門司市に出奔したるを取押へ本署に引致したるが同人は去三日釜山商業專修學校一年生に在學中進級試驗に落第し親達は本人に云ひ聞かせ中野方に商業見習ひに住み込ませしに學問の出來ぬ悲しみに煩悶し又友人の通學の姿を見ては自分の不甲斐なさを悲しみ一層思ひ切つて東京に上らんと圖り釜山より主人の印鑑を拇捺して詐取し門司に逃れたるはよきも若き身より遊郭に足を入れ既に五百圓を費消し取調べの結果殘金は所持し居たりと（釜山）

面白い現象

は金錢督促電報の多い事

過般郵便局に於ては一日の發着電報を種別分にして調査した處が左の表を得た。

種別	發信	着信
商工業用	五三三	四二九
銀行用	一七五	二五八
贈答旅行關係通報	八〇	二二四
金錢送受通報及督促	五五	一三六
米穀株式相場	……	一六七
病氣通報	一〇	一三〇
死亡通報	……	一〇
新聞報	一六	二八
官報	一二	一一三
弔問出産結婚等祝詞	五	五

久留米絣は半價

監獄委託工賃の半減方を陳情す

久留米絣製造業者は財界變動に依り製品は約半價に暴落せるより各監獄委託織工賃一反二圓五十錢の半減方事情を福岡縣知事を經て司法大臣及朝鮮總督府に請願せり（下關電報）

選擧關係用 / 雜 / 計　一八 / 一〇 / 一八〇 / 二五 / 一一九 / 一五七

第一位を占めて居るのは矢張商工業用であるが發着の旅行關係通報が夥しい多數に上る迄に商況通報を凌駕して居るのは面白い。金錢送受通報及び督促電報の數多いのも見逃す可からざる現象である。

工 關釜連絡船

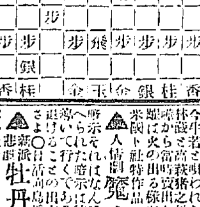
釜山發　朝、六四　夕、八三〇〇
十八日　朝、壹岐丸　夕、博愛丸
十九日　朝、對馬丸　夕、新羅丸
二十日　朝、壹岐丸　夕、博愛丸

聯將棋（一）

於京城旭町大日本麥酒會社倶樂部

東軍（先）○久保田長兵衛　△安井成吉　□中村健三
西軍　●大島勝太郎　▲伊藤路加　■龜山太七

持駒　東軍　角步



手 屋 數　○五八飛●三四步△五六步▲六二銀（イ）□五五步●（五）二金右○七六步●三二金（ロ）△五四步▲二五步（ハ）○同步□同飛●八八角ナル△八八角ナル▲同銀○四五角△五七飛▲二七角ナル□七五步（ニ）■五三步

講評

（イ）六二銀は五四步を防げる方策なり（ロ）三二金は八四步と突く方策也（ハ）五四步突き早く四八玉と固むる方が勝敗擔からん（ニ）七五步は七七銀と穩かに指すべし（ホ）五三步打ち弱し寧ろ五四步と打つ處なり（ヘ）七七桂面白からず此處七七銀と上りて陣容を整ふる處なり

五月十九日

（舊四月二日）▲水曜▲丁丑▲大安▲成

▼八白▲徽館の來ることある日
▼九紫▲好運の日轉居開業入門名弘金件求職婚姻定明取引等吉
▼一白▲厄介事ある日新事見合
▼二黑▲怠り氣味あり敗財注意
▼三碧▲いまノ＼しき話ある日
▼四綠▲平調の日なれども新事控目吉女子は行儀を守らるべし
▼五黄▲恩が却つて仇となる日
▼六白▲增福開運の日何事も進んで利あり慈善事業を為す亦吉
▼七赤▲屈强の日開業求職慶事大なる金談等思ひのまゝに運ぶ

五日目取組

能代潟（大の高）　琴ヶ浦（鶴ヶ濱）　摩耶颪（若湊）　九州山（大鳴門）
士州山（若葉山）　矢筈山（大刀光）　釋迦嶽（黑瀨川）　宮城山（駒泉）
射水川（東雲）　御西山（大戸平）　友の浦（大潮）　大の里（白岩）

演藝案内

黄金館 黄金町 電話一六二七　▲大活色活動寫眞提供 ▲五月十四日より新寫眞提供 ▲チエルトの田巻 ボークスの脱獄 ▲活劇 本枯おむら 全四卷 ▲連續活劇 鐵の手袋 第十一第十二篇 ▲新派悲劇 南山血染の旗 五卷

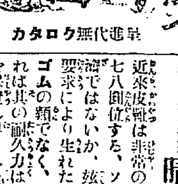
大盛況 連日立錐の餘地なき 京城日報連載中 俠骨 祐天吉松 新派悲劇 親心 人情喜劇 懸賞 御禮 **大正館**

喜樂館 本町一丁目 有樂館改 電話九七番 ▲舊劇 關東七人男 ▲人情劇 魔の囁き 四千呎 ▲新派悲劇 牡丹のお蝶 全六卷

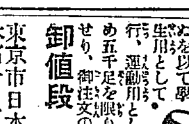
大正館 電話八七三 日本活動寫眞會社代理店 ◎五月十四日より三大映畫提供 ○『故九代目市川團十郎銅像除幕式』 ○新派『親心』全四卷 ◎『懸賞』全六千呎 ○祐天吉松 全六卷

浪花館 明治町 電話一六二〇番 ▲浪花節 競演會

壽館 本町一丁目 電話七八五

▼ピアノオルガン ▲山口樂器店 京城本町二丁目 振替口座五二一五  カタログ無代進呈

競争入札公告 石炭 詳細五月十七日ノ本府官報ニ在リ 朝鮮總督府



高級 貸自働車 箱型 幌型 現代の通には迅速便利經濟なる自働車を御利用あれ一時間金六圓 京城寫眞館 自働車部 電話（一四〇番 三四七番）

京日案内

▲行商 家庭用品販賣の行商あり女にても可 京城本町四丁目 キムラ藥房
▲女中 年齢は幾歳にても差支なし御世話被下度候 京城本町四丁目 木村眞三郎 電話二四九一番
▲賣物 英國製トランシット… 中古品種々 太平通一丁目美術品製作所前 測量器械製圖器械修理業 岩田武虎 電話二七九三
▲古本高價買入 是非御試賣ヲ乞フ 本町二丁目 群書堂 電話三一九五
▲募集 看護婦若干名 希望者ハ來談アレ 仁川仲町 佐藤病院
▲代診生 至急入用 希望者は至急來談又は履歴書送れ 仁川 小倉内科小兒科病院
▲お針に傭ひ度し 子供著物種々 その外か當方へ御出の上面談 新町 萬遊樓
▲店員 至急入用 本人來談詳細面會 本町二丁目 佐藤牧本店 電話一九二四八番
▲藥劑師一名採用 希望者は至急申込まれたし 平安南道安州城内 吉田商會藥種部
◎農場ヲ求ム 面積其他ノ詳細御通知ヲ乞フ 本人參上 永登浦面楊坪里 松本隆維
▲讓店 和洋紙商 活字器具一式建物宅地共全部讓リ度照會ハ返信料添付 群山 伊勢野口紙店
▲拂下品 公 右松板七百坪餘 同杉板八百坪餘 新龍山 鐵道 本部 至急 六分板 四分板 片面削 各安價 電話五六三番

◎最も完全せる 總ゴム靴!!! ◎價格至廉◎堅牢無比◎德用向◎ 晴雨兩用の最適品

近來皮靴は非常の高値を稱へボックスの極くお粗末なものでも七八圓位する、ソレで二三ケ月しか使用に堪へぬでは甚だ不經濟ではないか、兹に發表するは時代の要求により生れたる化學の發明で從來ありふれたるズック製、ゴムの類でなく、極めて純良の原料を以て精製せる總ゴム靴なれば其の耐久力は皮靴の三倍を保護し得られ、體裁高尚優美なれば紳士用に適し、價格は皮靴の三分一

に過ぎずして歩行輕快にして飛び歩くも聊かに響かず、總て運動用として好適の逸品である、特に今回は廣告の爲め五千足を限り左の卸値段を以て一足より御注文に應ずる事とせり、御注文の節足袋の文數記しハカキにて御申越あれ

卸値段 甲 四圓二十錢 乙 三圓五十錢（一足にても注文に應ず）

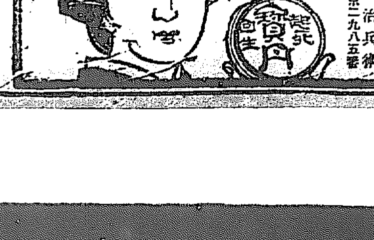
東京市日本橋區本石町一ノ十 關谷商店ゴム部

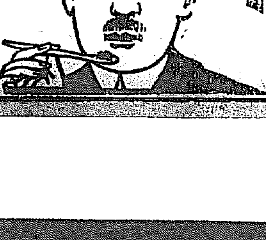
痔疾專門 京城久枝肛門病院 電話二一〇二番

代理店 大阪海上火災保險株式會社 蓬萊生命保險相互會社 東京山本大印インキ及印刷機械 つちや足袋合名會社 京城府本町參丁目 貿易穀物商 今藤富國太郎商店 電話長一三〇八 九〇二 一七七八番 電略（フ又ハ（フジトミ）） 振替口座京城一

保稅倉庫營業開始 今般朝鮮總督府ノ認可ヲ受ケ五月一日ヨリ左記ノ場所ニ於テ私設保稅倉庫一般業務取扱申候ニ付何卒御引立ノ程伏テ願上候 大邱稅關前石造倉庫 松前商店倉庫部 電話七四四番

石丸製 ◎例年ノ通眞正はいとりさん賣出多少ニ不拘御注文ヲ乞◎ 衛生無害 蠅取散 ▲完全無缺のはいとり劑▼ 定價壹圓 金貳拾錢 蚊取粉 ▲効力無類の德用品▼ 定價壹袋 金參拾錢 ◎藥店雑貨店ニ販賣ス最寄ニテ御求メ願マス品切ノ際ハ弊店ヘ直接御注文ヲ乞フ ◎見本御入用ノ方ハ前記ノ代價御送金（郵券代用ニテモヨシ）次第直チニ送付ス ◎各地特約販賣御希望ノ方乞照會◎ 鮮滿一手販賣店 京城黄金町三丁目二九一 上田商會





一匙で蘇生の思ひ 不時の病氣や不快の時にも 懷中良藥 寶丹 のキキメは即座に知る 主効 ◎氣付 ◎暑氣 ◎食傷 ◎渇水 ◎溜飲 ◎胃 ◎嘔吐 ◎消化不良 ◎下痢 ◎腹痛 ◎船車酔 ◎頭痛 ◎眩暈 ◎惡疫豫防 定價 金廿錢 金五十錢 金壹圓 金貳圓 （金五十錢以上に賞丹壺添附） 本舗 東京下谷池之端仲町 守田治兵衛 振替東京二一九八五番 全國各地藥店に有り

一等[illegible]同助[illegible]之助、宮川安太郎、牧山瀧藏、大[illegible]ら、桃富多江、鈴木なを、池部朴基求、梶川鎮隆、中村岱三郎、名）浪倉なほ、上瀬基、駒田[illegible]、荒薄政次、岡崎三次郎、同照子、官武、同寛興野、服部[illegible]次郎、崎船雄、西岡よね、同みか、同ちたみ、渡邊細五郎、[illegible]癸、粕[illegible]中村隆子、同市郎、塚原時太郎、川幹介、木下雅章、彌生政輔、滿[illegible]雪野、佐々助一、同たま子、安照代、吉岡健三郎、[illegible]明よ、田尻すて、同高之助、外八名飛鳥、同杉子、武田季吉、同光徳佐方文次郎、前田賢利、齊田王二、田きみ、高橋正一、猪島源七、棟武作五郎、楠本長夫、同さよ、山家猷治、土井信二、方山奎煥、名（二等四四名）小川延吉、長谷岩本直太郎、中村嘉三郎、川口勇郎、藤田米八、佐々木和夫、同敏追雄一、河原たつ、石川あい、同下孫作、江見克己、頓歌子、同鉄本好松、新田福次郎、皆川瑞、

（逆鉾（一勝一）大門岩）
千葉崎（阿蘇嶽）
兩國　大錦
（阿久津川）瀬川
源氏山　[illegible]木山

陸上大競技會　（右より）決勝點に入らんとする百米突決勝選手、跳幅飛一七呎九吋を跳る網干宗一君、棒高飛二米突四三を飛越せる永島茂君

半島運動競技界に一新紀元を畫したる

未曾有の快擧無事終了す

見よ!!壯烈を極めたる陸上大競技戰績を

半島運動競技界の廻轉期とも云ふべき朝鮮體育協會の第一回陸上大競技會の壯擧は既報の通り十六日午前八時より龍山新練兵場原頭にて擧行未曾有の盛況裡に各種陸運競技及決勝競技共に數十番の競走を無事終了した

體育協會の 此壯圖は未だ搖籃時代の半島運動界の覺醒と改造とに資するところ尠からず各競技に於けるレコードは遺憾乍ら殆ど中外に誇るべき何物をも得なかつたが然し此大競技會に刺戟され指導された全鮮數萬の青年學生紳士に來るべき競技には優秀なる結果を中外に示さんとする

意氣と覺悟 とを與へた力は頗る大なるものが有らう大競技會は斯くして豫定通り進捗し午後五時仁川よりの廿五哩マラソン選手決勝で終了し午後五時半會頭美濃部鮮銀總裁の授賞式があつたトラックにフイルドに優勝した選手百餘名は兒島中將大野少將其他來賓役員整列の前で會頭より一々に

賞品を授け られたが中一萬米突の優勝者中第六位の善隣商業學校生徒木瀬軍平君は僅十四才の若冠四尺に足りぬ矮軀で然も一萬米突を蹴破せる其元氣に對し會頭の特別賞を附與されたのと廿五哩マラソン第十六着善隣商業學校生徒佐友武君の廿五哩突破に對し本社並びに朝鮮新聞社寄贈の金牌が贈與されたのは特に觀衆の興味を惹き急霰の如き拍手喝采の裡に無事授賞式を終り

美濃部會頭 發聲のもとに帝國萬歳が三唱されて午後六時大會は恙なく終了した

戰績

▲百米第一豫選

第一回（レコード十二秒）
一、會社員　網干宗一（二三）滿鐵
二、學生　植田泰一（二三）高商
三、敎員　岩崎芳昌（二三）龍小

第二回（十二秒五ノ二）
一、會社員　兒島乘好（二三）滿鐵
二、學生　横山英勝（二〇）京中
三、會社員　鍋島時次（二〇）滿鐵

第三回（十三秒）
一、農　朴定杰（二〇）咸興
二、學生　中村義夫（二一）京中
三、學生　甲斐孝徳（二二）京中

第四回（十三秒五分ノ二）
一、農　村尙虎（二〇）咸興
二、學生　國岡大二（二一）高商
三、學生　古澤廣（二二）京中

第五回（十二秒五分ノ四）
一、會社員　久芳亨助（二七）鮮銀
二、學生　平田諒郎（二三）高商
三、學生　龜井勇夫（一九）高商

▲百米第二豫選

第一回（十一秒五ノ三）
一、會社員　網干宗一（二三）滿鐵
二、敎員　岩崎芳昌（二三）龍小
三、會社員　鍋島時次（二〇）滿鐵

第二回（十二秒五分ノ一）
一、會社員　兒島乘好（二三）滿鐵
二、學生　横山英勝（二〇）京中
三、會社員　久芳亨助（二七）鮮銀

▲百米決勝（十一秒五分ノ四）
一著　網干宗一▲二著兒島乘好▲三著久芳亨助

▲千五百米決勝
一著　野田耕作▲二著永濱修▲三著椎鎬經▲四著西山孝次
本競技は選手が餘り自重したらしく其レコードは全く貧弱極まるもので五分十二秒を費してゐる。

▲二百米第一豫選

第一回（二十四秒五分ノ三）
一、會社員　網干宗一（二三）滿鐵
二、會社員　大田淺藏（二五）滿鐵
三、學生　滿口桂三（二〇）高商

第二回（二十八秒五分ノ一）
一、學生　金星煥（二〇）工專
二、官吏　岩垣護（二二）總督府
三、學生　平田五郎（二三）高商

第三回（二十六秒五分ノ四）
一、會社員　兒島乘好（二三）滿鐵
二、商人　韓鯵熙（二六）咸興
三、學生　津島悦太（二一）京中

第四回（二十六秒五分ノ四）
一、會社員　荒木庄太郎（二八）京管
二、會社員　久芳亨助（二七）鮮銀
三、會社員　鍋島時次（二〇）滿鐵

▲二百米第二豫選

第一回（二十五秒）
一、會社員　網干宗一（二三）滿鐵
二、會社員　大田淺藏（二五）滿鐵
三、學生　滿口桂三（二〇）高商

第二回（二十六秒）
一、會社員　兒島乘好（二三）滿鐵
二、會社員　久芳亨助（二七）鮮銀
三、會社員　荒木庄太郎（二八）京管

▲二百米決勝
一著　網干宗一▲二著荒木庄太郎▲三著兒島乘好

▲八百米豫選

第一回（二分廿九秒五分ノ二）
一、學生　野田耕作（二〇）京中
二、學生　荒木安男（二一）京中
三、學生　石原太二（二一）高商

第二回（二分卅秒）
一、職工　金能云（二六）滿鐵
二、職工　崔榮鎰（二六）滿鐵
三、學生　藤木景則（二二）京中

▲八百米決勝（二分卅一秒五分ノ一）
一著　野田耕作▲二著崔榮鎰▲三著荒木安男

▲四百米豫選

第一回（一分二秒五分ノ一）
一、青年會　李鐵虎（二〇）天道敎
二、會社員　朴根秀（二三）鮮銀
三、學生　金星煥（二〇）工專

第二回（一分二秒五分ノ一）
一、會社員　中川新一
二、商人　韓鯵熙（二六）咸興
三、官吏　黒崎逸郎（一九）遞信

▲四百米決勝（一分四秒五分ノ二）
一著　李鐵虎▲二著黒崎逸郎

▲五千米決勝（十九分五秒）
一著　平良日露史▲二著早稲田英章▲三著尾崎晶一▲四著山和雄▲五著勝部環

▲一萬米決勝（四十二分十秒）
一著　古屋武▲二著村上元治▲三著村上良英▲四著西澤克己▲五著小岩井廣▲六著木瀬軍平▲七著阿比留寛人

▲十哩ラマソン
參加選手廿二人、午前十時三十三分會場を出發し龍山より京城鐘路黄金町通を一周し再び龍山を通過して會場に入り一周して決勝點に入つた時に十一時四十四分
一著　商人　崔洪錫（二八）京城
（一時十一分廿七秒）
二著　配達　金相洞（二〇）大阪時々
三著　集金人　金壹萬（一九）京城
四著　學生　千石慶次（一七）龍中
五著　學生　的野勇（一八）京中
六著安達安次郎、七著椎洪植（商人）、八著荷張厚（學生）、九著蘇乘植（配達）、十著安達一郎、十一著吉取寛（商師）、十二著雄波錫雄（學生）

▲廿五哩マラソン
參加選手百十三名仁川税關前出發午後一時卅分、隼の如き選手は一齊にスタートを切つたが税關附近より既に落伍者が出來たが大部分は元氣よく仁川街道を北進した先頭は四二一の番號を胸にした韋駄天で終始先頭に立ち立派に會場を一周し午後四時半決勝點に入るタイムレコード二時四十五分十二秒五分の一である續いて約一秒遅れに第二著が決勝點に達し約三分の後第三著が到著し其後も約二三分の差で陸續決勝點に入つて來た何しろ廿五哩を蹴破した丈に決勝點に入つた時生氣のない土色の顏をしたものが多かつた更に永登浦より徒歩で殘念ながら倒るゝもの尠くなかつたが協會の自動車で一も會場に運搬して來て應急手當を加へてゐる
一著　東大　林日鶴（二五）京
二著　同　木下政助（二五）同
三著　同　新崎義一（二五）同
四著金川里（二四）、五著山本理三郎（二八）、六著井上一郎（二七）、七著藍松十郎（二二）、八著佐藤太郎（三〇）、九著藤松市次（二五）、十著石川勝平（二四）、十一著柳系學（二三）、十二著池泳徳（二九）、十三著朴慶善（二七）

▲走幅跳
學生一等　佳友武（一七）善隣
一等（十七呎九吋）　網干宗一（二三）滿鐵
二等　韓鯵熙（二六）安部良藏（二五）
三等　中村義夫（二一）横山英勝（二〇）
四等　金景煥（二〇）

▲走幅跳決勝
▲一等（十七呎九吋二分の一）中村義夫（二一）▲二等（十七呎五吋）網干宗一（二三）▲三等安部良藏

▲走高跳（一米四四）鍋島時次（二〇）韓鯵熙（二六）川宮利治（二五）

▲棒立跳（二米四五〇）佐藤啓三太、岩崎芳昌、永島茂

▲四百米リレー
第一回▲一著（五十五秒）咸興青年團（朴定杰、朴尙虎、金清榮、都選浩）
第二回▲一著（五十一秒）滿鐵（網干宗一、鍋島時次、兒島乘好、田宮利治）

▲八百米リレー
一著（一分四十九秒五分ノ二）滿鐵

概評と雜觀

第一回の壯擧だけに各方面に失敗は多かつたが兎も角此非常を無事終了したのは協會の大手柄であらうと共にマラソン其他の各競技參加者中一著から十五著迄全部車夫と云ふのは非常に困る▲廿五哩マラソンに至つては唖然とせざるを得ない▲十六著の善隣商業學生の入勝で辛つと慰めを聞き得たのは情なかつた▲一般に**人力車夫等が多かつた**選手の**タイムレコード**一般に對する自覺が無い勝ては善いのでなく立派なレコードを作る意氣と覺悟が必要である▲其結果誇るべきレコードを示し得た競技は一つもない▲僅かに百米二百米で内地のレコードに匹し得たのみである▲來るべき競技には二三著を爭ふよりレコードを爭ふのが要點である▲フイルドでもトラツクでも未だ競技方法を知らない向が多かつたが協會は此點に就いて將來選當の指導を是非與へねばなるまい▲軍人側の役員が非常に働いたのは嬉しかつた、特に兒嶋大野兩將軍の熱心な態度には敬服の外がなかつたが何故斯かる熱心な軍隊側から選手が出なかつたかしら▲廿五哩マラソン參加選手の年齡がやると鮮人四十八歳が最長で内地人四十六と云ふ中老から若いのは十六の少年で平均が三十二歳であつた▲レコード中で百米網干の十一秒五分の三、二百米網干の二十四秒五分の三は稍々見るべきものであつた

朝鮮神社地鎮祭

特に李王殿下の御參列を仰ぎ　莊嚴に執行されん

祭式の次第決定

内地に於ける伊勢大廟にも比ぶ可き半島の祭朝朝鮮神社建設計畫は著々進捗し愈々來る二十七日午前九時より綠樹陰深き現漢陽公園朝鮮神社敷地に於て地鎮祭を擧行する筈なるが當日は特に李王殿下の御參列を仰ぎ公族總督政務總監、貴族、本府各課長在京城各所屬官署長軍司令官師團長其他主なる官民約三百名參列すべく祭式の次第左の如し

地鎮祭々式次第

地鎮祭執行期日　五月廿七日
同　始式　午前九時

當日早旦祭場を裝飾し祭具を辨備す其の儀御敷地内祭場の四隅に齋竹を立て注連を引亘し正面に神籬を安設し前面左右に眞榊（眞榊には五色の帛を垂し左に鏡玉右に劍を掛く）を立つ
鎮物及忌鎌忌鍬を設く
午前九時掛員（齋服淺沓）祭員（齋服淺沓）祭員直垂童女（手杉緑鞋）參列員（通常服）參集
次に掛員以下祓所々定の座に著く
次に祓主祓詞を奏す
次に祭員の一員大麻を執り一員鹽湯を執りて祭具、參列員以下を祓ふ
次に掛員以下御敷地内祭場所定の座に著く
次に齋主降神を奉仕す（齋主警蹕）此間一同起立
次に副齋主以下神饌を供す此間奏樂
次に齋主祝詞を奏す此間一同起立
次に齋主米、鹽、酒、切木綿を執て宮地の四隅を敲ふ祭員二員副從
次に童女一員忌鎌を執り正中及四隅に苅初の式を行ふ
次に童女一員忌鍬を執り正中及四隅に穿初の式を行ふ
次に朝鮮總督鎮物を埋納す（祭員二員掛員二員）副從
次に諸員拜禮（親任官は一人づゝ勅任官以下は文官、武官の二班、民間一班として一人代表他は其席に於て列拜）
次に副齋主以下神饌を撤す此間奏樂
次に齋主昇神を奉仕す（齋主警蹕）此間一同起立
次に諸員退下
以上式終了の後神饌頒賜
地鎮祭掛員
土木部長、學務局長、庶務課長、宗敎課長、技師、祭務主任、庶務主任
地鎮祭々員
京城神社神職西田福市、仁川神社神職上原竪一、同磯野勝見、開城神社神職井上顯敎、水原神社神職宮崎幹、總督府屬同湖修、同吉岡清二、同鈴木友厚、同（傭）村澤保太郎
地鎮祭童女
朝鮮總督府技師入江寛太郎女、朝鮮總督府屬會我原四郎女、同渡邊清足女、同川津玉留女

參道　裏表二道を設く

因に參道は裏表二道を設け表道は南大門附近よりし裏參道は總督府側より通ずる幅四間長さ五百七十間に達する南山中腹の新設道路にして之は既に完成し十七日京城府より本府へ引繼を了したるものなり

光榮の童女　いづれも可憐の令孃達

地鎮祭當日の祭式に携はる可憐光榮を有する童女入江文子（明治四十三年二月生）曾我鈴子（同四十四年二月生）河津美代子（同四十三年十月生）渡邊豐子（四十二年十月生）何れも十歳より十二歳迄の可憐の令孃にして身體强壯、品行方正、陸淑なる家庭に育ち健全なる兩親を有する者を選定せるなりと

勃海灣横斷か

奉天方面迂回か　伊太利飛行機の飛行航路如何

新義州著は多分二十日前後

十五日夕刻在北京伊國飛行將校より新義州滯在のパウルテ中尉の下に達したる電報に依ればマシエロ及びフエラリー兩中尉操縱のスヴア式二機は十六日朝青島出發北京に向ふ筈なれば北京に兩三日滯在の上直ちに新義州に向ふ可しとありしが森中尉の談に依れば北京新義州間の飛行は二つあり一は勃海灣を横斷するもの他は奉天方面を迂回するものにて兩機は何れの航路を取るや不明なるも勃海灣を横斷するとせば約三時間奉天を迂回するとしても七時間を要す可し新義州著は早くて十八九日頃遲くも廿一日頃には來著す可しと（安東縣特電）

十七日青島出發

フエ中尉北京に向はん

フエラリー中尉操縱のスパア式飛行機は天候良好なれば十七日午前七時青島出發北京に向ふ豫定なり同乘者はエカパニなり（青島特電）

ランザ中尉カルカツタに

羅馬東京間飛行に參加のランザ中尉はカルカツタに到著せりと（東京電報）

山梨一流の皮肉と

警句を連發させて　陸軍次官の京城入り

=龍山驛頭五分間の印象=

支那漫遊の途次十七日夜入城の豫定であつた陸軍次官山梨半造中將は大臣秘書官西尾少佐を隨へ十七日朝九時半着列車にて來城した、大野軍參謀長と共に**龍山驛に**出迎へると中將は疲れた身體を車窓に現はし『やア』と云ひながらプラットフォームに降り、例に依りて絶えず右手を活動させながら將軍一流の『俺が〳〵』を連發して快活に談笑する凹んだ鋭い眼の上に濃い一文字の眉が塞がつてゐるのは昔の儘ながら**鼻下の髭**には甚だしく霜が加はつてる『俺ア朝鮮は通だから、京城見物なんか甘いよ青島では戰跡を歷訪して[illegible]』と大野少將と語り、少將がオリッピンク大會の盛況であつた事を語ると『ほ、其奴ア痛快だつたね、一時間に四哩走つた譯になる、ふむ、萬國の競技大會にでも出す前提かね來年出すか、それは結構だ、何んでも**世界的で**なくツちや駄目さね、とそれからそれと警句百出『朝鮮は暑い』『ぢやア又天眞樓へ御輿を降ろしてから後でゆつくり會はう』とハンケチで顏の汗を拭ひながら車窓に上り輕く擧手注目の禮を返した。

密漁の爆藥　人を殺す

去月來東拓株式會社所有の本道高陽郡纛島面長安坪里の堤防復舊工事請負作業中なる高陽郡纛島面[illegible]芝面下往十里土木業服部庄太郎（四〇）兒分同面杏堂里浦國平（四〇）纛島面宮本乙松（三七）外四名の土工は去る一日かねて南大門外道路開設工事中竊取隱匿したるダイナマイト七個を同所の水溜に投じ密漁したる個々其中の不發の一

咸興南部線開通式
枕木で造つた祝賀門（上）水野政務總監と久保局長（下）

俺は!!憲政會

だゞと肥後守て切腹す

十五日午後二時頃大阪市南市四ツ橋南詰飯屋伊勢屋方にて大分縣南海部郡海崎村生れ岡本藤吉と云ふ男が一個五十銭の飲食を爲したるも懷中無一文にて支拂ひ得ず同じく同店にて飲食を爲し居たる勞働者風の男と政論に就て議論をオツ始め自分は憲政會だと大いに氣を吐きたるが前記勞働者風の男四五名の者に云ひ込められたるより憤慨となり『俺の生きた血を見ろ』と所持せるナイフ（肥後守）を着物の上より我と我腹に突き立て大腸露出し生命危篤なり（大阪電報）

公設市場反對で戰の火蓋は切られた

增設停止運動を決議す

奨忠壇に食料品組合の發會式

既報せる府内食料品商の組合組織は愈々同業者大多數の結束成り十六日午前十一時より奨忠壇公園バラック内に於て創立發會式を擧行したり過般食料品商代表者十名が府公設市場增設見合せの陳情を爲した其矢先でもあり或方面では公設市場反對運動を意味する鹿ヶ谷式の會合ではなからうかと興味の眼を以て見て居り警務側からも私服警官の二三を派したやうにも噂されたが櫻花の徽章を胸に鎖した同業者約八十名定刻には事ありげに**犇々と來會**した外に各方面よりの來賓約卅名若葉に風薫るバラック内に寄集まつた光景は大雨正に至らんとする前の靜寂にも比すべく中井氏の組合組織經過報告及び開會の辭、來賓代表大垣丈夫氏の挨拶あり役員選擧では中井、佐藤、酒井、古村、下川の十氏を委員に擧げ中井忠三氏を組長に佐藤牧太郎氏を副組長に選定し大垣丈夫氏を名譽顧問に推選されたが名稱は京城食料品雜貨商組合と決定し**會議に入る**と果然公設市場反對の火の手は擧がり組合員一同の顏には颯と血の氣が漲り甲論乙駁議論の結果左の決議を爲し代表者を選び當局に陳情請願する事とし午後四時散會したが其實行方法は奈何?又府當事者の態度や奈何?火蓋は既に切られたのである。

我が海軍の新威力

獨逸型大潛航艇の建造

獨逸よりの捕獲潛水艇七隻は愈々聯合國の協定に依り解體爆沈に決し内一隻獨一號は十月中旬に去る三隻は五月より吳海軍工廠の手にて解體作業中重要機關のみは撤除き之と同時に獨逸が大戰中猛威を逞うしたる前記七隻の潛航艇にて我海軍は數ヶ月間の十分なる試驗に依り得たる知識に加ふるに多年の經驗等を參酌し獨逸型大潛航艇を吳、横須賀兩廠に於て建造すべく右艇は一千五百噸の排水量を有し太平洋上を自由に航行し得る大威力なりと（東京電報）

頓

三井岩崎と並稱される歐洲戰爭の成金神戸鈴木商店の女主人米子さんは過般微行で突如十五日の夜入城したが、其夜天眞樓に一泊しただけで愈遽又京城を去つて内地に引上げて了つた▲米子さんは最早六十餘歳の老齡、切り髮の質素な服裝だが何處か上品な中にもキカぬらしい風貌があり悠揚として落ちついて口數はきかぬが領は得て居る▲流石に永年の事で過ごし女であれ程の大財産をつくるだけに抑々シッポを捉るやうな穴口をきかない大概隨行任せで濟ませて了ふ▲隨者も其心得で居るらしくお主人の前に立ち塞がつて敵を寄せぬ手腕は鈴木商店式に鮮かなものだ▲京城の風光は案外氣に入つた樣子であつたさうだが高級員の計報に接して直ちに上る譯だ

陸上大競技開催

京城高等商業學校は改稱したる元準協會は來る廿三日同校庭に於て第八の兩日全校の陸上大競技會を擧行する由にて十一日トラック、ヒイルドを完成し猛烈なる練習を續け居り誇るべき各種レコードを示すべき意氣込なりと

工專生歸城

京城工業專門學校生徒職員卅四名は過般來内地見學中の處十六日午後十時卅分南大門着にて東京より歸城したり

○吉武辯護士夫人　辯護士吉武藏氏夫人は去月以來福岡病院に入院中の處藥石効を奏せず去る七日逝去せり、葬儀は十二日郷里福岡縣宗像郡東郷村用山自宅にて執行せり

運動界

市軍一慶應零　又復補回試合

雨の爲延期し居りし市俱部對慶應の第一回野球戰は十四日午後三時五十分より高松（球）加藤（壘）兩氏審判の下に早大グラウンドに開かる市軍先攻す▲第一回より九回まで兩軍零にて補回試合に入り▲第十回はヒンクル三壘の頭上を抜く安打にボーコールの投手飛打に進み[illegible]の一則に三壘を得コンテ一の[illegible]を抜く安打にて[illegible]三振して代る▲慶應高濱は中三振新田三振して已み一對零にて市軍勝つ六時五分閉戰す（東京電報）

市軍	クスル・ンル・ー・[illegible]	打數[illegible] 安打[illegible] 三振[illegible] 四球[illegible] 盜壘[illegible] 失策[illegible]
慶應	須中田・木蔭岡・高永桐山・[illegible]	打數[illegible] 安打[illegible] 三振[illegible] 四球[illegible] 盜壘[illegible] 失策[illegible]

市俱對帝大　野球戰

市俱對帝大野球戰は十五日午後三時より擧行（東京電報）

東亞軍捷つ

東亞對草庭球團は十六日水原にて延長を來したるも東亞コートに於て庭球戰を行ひ東亞軍作進三、不戰二を殘して大捷
○新村木田……政弐二口
○新村木田……伊藤保田
小島山岩……伊藤保田
○進藤子華……松崎渡邊
木下小倉……宗像松田
○小宮清水……松崎渡邊
○山水山北村……宗像松田
金　粉田……今井佐尾
不戰組　金　粉田……會田牧野　吉見組

危險なる外來思想

▲國粹鼓吹の菅原道眞▲大馬鹿者の標本物徂徠▲印度思想の生みたる大逆賊蘇我馬子▲國民道德鼓吹の水戸光圀▲國體破壞のデモクラシーに共鳴の賣國奴

有田ドラッグ商會主　有田音松

祖先崇拜は我帝國の大本であつて國體の精華である。余は壯年時代から祖先崇拜を唱道し賛揚して今日に至つたのである。偶ま歐洲の大戰終熄後に際し、險惡なる思潮は海の彼方より澎湃として押寄せて來た、險惡なる學者、輕薄なる文士、乃至新聞記者等は前後の辨もなく之に共鳴し盛に一丁字なき大馬鹿や權兵衛も新思潮の標語たるデモクラシーを唱へ出し、デモクラシーでなければ人類の幸福なる幸福が得られないとまで誤信する者が出來、ストライキだの、サボタージュなど、騷ぎ廻り、人心を惑亂し、産業の發達を阻害したことは讀者諸君の記憶に新なる所である。一片の護謨、百錬の肝臟、忠君愛國の志を抱持する者は座視傍觀すべき秋ではない。余固と不敏、一世の思潮を指導する器でなく、狂瀾を既倒に回へす力もなく大廈の仆れんとする一木の能く支ふるに非るを知るけれども、忠君愛國の念に於ては人に讓らない、敢て所思の一端を披瀝して『祖先崇拜と思想問題』『忠孝と思想問題』『國體破壞の思想を驅除せよ』『維新破滅の思想問題』等前後四回に渉りて先輩諸賢の是正を仰いだのである。

余が思想問題に關して所念の一端を公表するや、北より南より西より東より賛同の意を表示せらるゝ諸賢無慮千萬、中には一府、一郡、一村、一町、一郷、一團體を代表して賛同せられたのがあるから、實際に賛同の意を表示されたる諸君は優に數百萬の上に出づるであらう、單にそれのみならず、内心竊に外來の惡思想を排除せられつゝある諸士も多かるべく、算ふれば其の數は恐らく非常なる多數に上ることであらう。又他の一面を顧みれば、森戸事件に次で新聞紙の發賣の禁ぜられたるもの多く「デモクラシー」に陶醉の漢を流しつゝあり、全國數千の新聞紙は鳴を靜めて謹愼の意を表し今更の如く前非を悔いつゝあるもののやうである。嘗て「デモクラシー」主義を鼓吹せし大小數千の新聞紙中、余の言議に對して賛成の意を表示する者あるも、反對の意を表する者なきは、蓋し余のこの所思を語るものである。余はこの現象を目擊して、天下國家の爲に慶賀の至に堪へないのである。

余は百尺竿頭更に一歩を進めて、彼の陋博士や淺薄なる教授等を帝大の講座及私立大學の講座より放逐せんことを切望する。いふまでもなく、帝大の教授や私大の教授は一世の儀表たるべきものである。然るに日本に生れて、我國體を辨へないで、妄に危險思想を鼓吹し、謬説を街に國體破壞の言議を弄する、この不謹愼はいふまでもなく、彼等は薄ノロを通り越して馬鹿の骨頂である。彼等は實に我帝國の版圖に居住せしむべき者でない、無人島へでも驅逐すべき者である。

して、支那の革命の國風には深く思慮を加へねばならぬ、日本は萬世一系の皇統を戴いてゐる國民だから決して支那風に化せられてはいかない、支那の學問はするが好い、漢土三代周孔の學問も好いが、しこの革命といふ忌むべき思想は支那から丸呑に輸入しては好くないのである。之が若し從んで支那の學問に溺れると國體轉覆といふやうな者が出來る。大に愼まなければならんことである、菅公は此の如くに學問の眼界を看破したのであります。この時分に菅公以上の學者も居つたらうけれど是れだけの卓見を吐いた者はない、この點に就て菅公は實に國體擁護の第一人者であつた。丁度支那の文明から剽竊されて、精神的にも物質的にも、昔支那を模倣してゐる。この時代にキビ〳〵としたこれだけの議論を立てた菅公は實に卓見家である。この精神があつた爲に我國が次第に隆運に向つたのであつて、若し漢土の學問をしてそれが爲に革命の國風でも輸入したものならば大變だ。大和民族はこれ等を感容することが出來ないのである。見よ、足利尊氏の勢力を以てしても北朝の天下は長く續かなかつたではないか。又織田信長や豐臣秀吉や德川家康にしても皇室を尊重せねば、國家の政を執れないといふのが我日本の特ある。

大馬鹿の標本物徂徠

德川時代の儒者として名を知られてゐる物徂徠は偏狹なる支那崇拜者で、外尊內卑の腐れ儒者である、腰拔儒者である、彼は神國の日本を東夷など、賤しめて自分の印影にまで彫刻させてゐた。或人が彼に『若し孔子や孟子が兵を率ゐて攻め來らば如何にするか』と問ふた、所が徂徠は「孔子や孟子には抵抗出來ない、から降參す

る」と答へたさうだ。自尊心、自負心、自重心の無いには驚かざるを得ない。彼は只文字を讀んだ人といふ外に、愛國心などは微塵もない、いけ者である。近頃帝大や早大あたりの學者連に、歐米心醉の僧を卷いて、ヤレ新思想の、ヤレ新主義のと、人心を惑亂するやうな馬鹿者がある、そして尻馬に乘る新聞記者などが續々て來た、いつの時代でも馬鹿と阿呆とは盡きないものだ。

色であります。それから[illegible]

徂徠は又我國を「聖人なき國」と自ら卑しめて、孔子の賛などを作り、その末尾に「日本國夷人物茂卿」[illegible]

ある。彼は唐虞三代の道を以て政治道德の唯一の標準として居つた。彼は「堯舜禹湯文武は古の聖人である、天下國家を平にする爲に聖人が道を設けたのである」と說き、この聖人の道の外には、神道でも、武士道でも、我特有の國民道德を認めなかつた。徂徠は我神道を如何に見たかといふに、單に祖先崇敬の念に基く祭祀の道であつて、これも儒教の範圍內のことであると言つた、彼は『唯々我國の神道は、祖考を祭つて天に配し、天と祖考とを一にして、何事をも鬼神の命を以て執り行ふことで、文字傳はらざりし以前よりの事なれども、是も亦唐虞三代の古道である』といひ、後世の神道は附會の說で取るに足らないとし、武士道を賤しみ、武士道の見地から儒道を評するのは、田舍漢が都會の事を理會し得ないと同樣であるとして、「聖人の道の外に別に國士相應の武士道ありといふは、畢竟是れ不文の過にして、今の習俗の染みこみたる心より料簡する故、田舍人の都の事を會得せぬ類なるべし」といつて、武士道には多少取るべき所もあるけれども、とても聖人の道に較ぶべくもなしと斷定した。要するに徂徠の如きは儒教以上に我國民道德の儼存するを知らなかつたのである。

すゝ、鳥羽僧正は、徂徠の高足太宰春臺の非國民態度を攻擊して『汝日本に生れ、本朝の皇道に浴し、今泰平の化に浴しながら、何ぞ其恩を忘れて斯く反逆の罪をなすや、汝何ぞ舜が服を着し、舜が粟を食まざる』といつたのも道理至極である。

支那文明を崇拜して、之に心醉すると、萬事につけて無分別に模倣しやうとするものである。祖先傳來の姓を改めて自ら悅ぶことなどは、奈良朝時代からも既に有つたのではあるが、江戸時代に儒教が盛に行はれるやうになつて、この惡風が流行した。徂徠一派の如きは最も甚だしいもので、その理由とする所は、我國の如く姓名の長いのは夷狄の風俗であるとして自ら略したからである、徂徠は荻生總右衛門、名は雙松、字は茂卿、徂徠はその號であるが、物部姓であるといふので、之をつゞめて物徂徠、物茂卿など、稱した。彼れの門下生も之に倣つたので、一見支那人か日本人か判らない。徂徠の高弟では、德川將軍の事に天子同樣の語を用ひてある。徂徠の弟子太宰春臺の三王外記には、德川將軍を王と稱し、その命令を詔といひ、全く王者の儀裝を以て記事を記したもので、天皇をば山城天皇と稱し奉つたことなど全く以て不臣の甚だしいものである、彼等は國民的自主自尊の精神を以て外國の文明を攝るといふ大切な事を知らないのである。徂徠一派は、佐藤直方等は赤穗の義士を賊徒として斥けたのみならず、當時彼等の間には、陰に易姓革命の說があつたらしい、實に不埒千萬な奴である。

德川時代の思想の中で、國民道德の發達に大に貢獻したものは水戸學である、水戸學は德川光圀の大日本史編纂の事業を中心として發展をした思想をいふので、其の目的とする所は、我國體を明にし、之を本とした道德即ち大義名分を明にすることであつた。水戸學は「儒教を縮めさし、漢土の文明に資る所があつたけれど、決して妄に模倣のみをしなかつた。彼我の歷史を對照して、其の道理に適つて取捨を加へ、全部の作はていやうに注意した。水戸學も今日から見ると更に精鍊すべき點もあるが、當時に在ては最も穩健で、而も正大なる思想であつたのである。そこでこの學風が國民に活氣を與へたこと及び大義名分を明にして、內には君臣上下の分、外には中外の別を正しうしたことを始めとし、我國體を本として忠孝仁義の道を說いたことは實に多大である。忠孝仁義を說くに、前には菅公ありて和魂漢才を唱へ、後には德川光圀ありて大義名分を明かにし、何れも國民道德の發展に努力したので、我國今日まで儒教の弊害、易姓革命などの影響を受けないで、立派なる國體が維持されて來たのである。

印度カブレ（佛教）

佛教が我國に傳來したのは、欽明天皇十三年）である。佛教は我國と風土民性を異にせる他民族の間に發生した教義であるから、傳來の當初より人心を刺戟し、之を奉じやうとする者と、之を排しやうとする者との間に大いに論爭が持上つた。即ち蘇我は崇佛論を唱へ、物部と中臣とは之を排斥せんとしたのである、爭ひは更に擴大して民族の能力競爭となり、鮮血で佛像を洗ふやうな壯觀を呈したのであるが、結局崇佛論が勝を占め、上下擧つて佛教に[illegible]

孝子　伊藤仁齋

伊藤仁齋は名を維楨、字を源佐といひ、仁齋は其號である。京都の堀河に居りて古學を唱へたる有名な儒者であつた。延寶元年京都に大火ありて、仁齋も亦其災に遇ひ、家財悉く烏有に歸した。その時仁齋は他物を顧みないで、唯大切なる古畫一部を攜へて遁れ、京極方恩寺へ難を避けて僑居した。是より先、その母は癇癖を患ひて既に三年に及んだが、仁齋の孝養は極めて懇篤日夜少しも油斷がなかつたのである。時に肥後の細川侯仁齋の高名を聞き祿千石を以て聘用せんとしたが、至孝なる仁齋は母を介抱するは吾の任なりとて、あはれ千石の大祿をも固く辭して終にその聘用に應じなかつた。さる程に母は終に僑居で瞑目した。哭するに臨

んで合掌して孝養の厚かりしことを仁齋に謝したさうである。この一事によりて察するも、如何に仁齋が孝心の深厚なりしかを知るに足るのである。然るに翌年九月父長勝も亦逝去した。僅に二年の間に兩親を失ひし仁齋の悲歎は如何ばかりであつたらう、やがて仁齋は兩親の喪に服した、前後四年の間は淺黄色の喪服をつけて、只管に身を愼み、花は咲けども、雪は降れども、[illegible]して父母の靈位に事ふること尚ほ在すが如く、十分に死後の孝行までも盡したのである。仁齋が後世に名を貽したのも實に尤もな次第である。（この挿話は親不孝の息子どもに煎じて服ましたい）

歐米カブレ

（デモクラシーの鼓吹者）

明治維新以降文物制度を歐米から輸入したので、吾の警醒に拘らず歐米の物なら何でも良いと誤信し我國體も顧みないで、[illegible]のである。彼等が歐米の新思想に共鳴して國民思想を惑亂させてゐるのは非國民極まる行動である。薬莠のない權兵衛や八公がデモクラシーを口にするのは深く咎むるに足りないけれども、苟くも一世に師表たるべき博士や學士が、我國體の如何を顧みないで、デモクラシーに共鳴するのは斷じて許されない。

デモクラシーといふ語は古く希臘にあつた語である、我國の博士や學士が民本主義であるなど、解釋するけれども、決して民本主義ではない、民主主義である、我國に生れた以上民主主義とはいへないから民本主義など胡麻化してゐるのである。若し彼等が正直に民本主義だと信ずるならばその思想の淺薄を嘆かざるを得ない。民主主義と知りながら世間を欺くにしても國民の腹の中の黑いのを偽まずには居られない。何れにしても、彼等は非國民である、國賊奴に等しき鼠輩であるから、彼等を國外に退去せしめねばならぬ。

デモクラシーといふのは民主主義である。デモスといふは人民といふ意味で、クラシーといふのは[illegible]のである。而して此等の種類に屬するデモクラシーは政治的組織に關係を持たぬのであるから、此等に對して所謂デモクラシーなる言葉を明白に說明せねばならぬ、漫然といへば、デモクラシーといふ語が、政治的意味に關ゆるのは著しい限は、普通に政治上のデモクラシーと解釋すべきである。

デモクラシーといふ言葉は最初希臘に初まつたのであるが、希臘ではデモクラシーに關する議論が盛であつた。アリストートルの政治論の內には詳細にデモクラシーを論じてゐる。で少しく左に紹介しやう。

アリストートルはデモクラシーに就て五種類に分けてゐるが、其最も俗惡なるものは何事も民衆の決議で定める。かゝるデモクラシーが行はるれば法律は何の權威もなくなる。それは多數人民の意志によつて法律は改造されて仕舞ふからである。そして多數人民が政治を行ふとしても、さう多數の者が悉くそれに從事することが出來ないから、自然代表者を出すことゝなる。すると無智なる民衆を煽動し自由にした政治家が、一般人民の名に依つて自分勝手な事をするやうになる。すると君主專制も民主主義も何等異なつた所がな[illegible]

孝子　中江藤樹

藤樹は幼い時から讀書で學問が好であつた、十一歳の時、大學を讀み「天子より以て庶人に至る、一に是れ皆身を修むるを以て本とす」といふの語に至り、感奮して、聖人とならうと志[illegible]

シーの弊害が甚くなつて一般國家に重患を醸すやうになる。予はこの點に就て世上のデモクラシー論者に反省を求むるのである。

露國現下の狀勢を目擊する者は、デモクラシーが如何に恐るべきかを判斷し得るであらう。狂暴、殘忍等あらゆる悲慘なる形容詞を以てするもその慘狀をいひ現すことが出來ないのである。彼れ過激派は目的を達するに手段を選ばない、と、思はれない位である。その亂暴狼藉は人類の爲すべきことではない、斯の如き狂暴の事實を知りながら、デモクラシーに共鳴する博士學士、新聞記者等は我國の前途を如何にせんと思ひつゝあるのか。露國人は生命も財產も一切を擧げて虎狼の反噬に委してゐるではないか。吾等から憐れなる國民を亡國の民といつてゐるが、露國人は亡國の民よりも一層憐れなる境遇に陷つてゐるのである。デモクラシー論者は我七千萬の同胞をして露國の先蹤を踏ましめやうとするのであるか。

支那カブレの腐れ儒者物徂徠が自ら卑めて東夷と稱したのは、その害の及ぶ所微少であるが、今のデモクラシーに共鳴する博士學士新聞記者等は、國民全部を腐蝕せんと力瘤を入れてゐるのではあるまいか。デモクラシーは歐洲大戰後の世界思潮であるとか、我日本も世界的の潮流には抵抗することが出來ぬとか、デモクラシーで無くては立憲の自由と民衆の幸福とは得られないとか、なさけないことを麗々しく書きたて言ひたて、下層社會を煽動し、その頸ストライキとなりサボタージュとなつたのである。實に不都合な話である。一代の師表たるべき博士、學士、新聞記者輩が、無智なる下層民を煽動して、階級打破や、民主主義などを主張するのは、默視すべき問題でない。我國體を維持する爲には、彼等を一網打盡して國外に放逐し、以て國民の向上よりも危險思想の全部を[illegible]べき焦眉の一大急務である。

國體の精華を發揮せよ

我國の制度文物、物質的の設備は、悉く歐米の產物に則り、改良進步しつゝあることは識者の認むる通りであります。其の時分國は如何なる狀態にあつたか、今日の形勢を顧みて、予等研究の眼識に照らしてみると、古き歷史に現はれた所と同じ狀態をなして居りました。この國家を發達させましたか、その結果如何にして今日の隆運に向つたかといふことは研究すべき問題であります。大正九年の今日は歐米の文明を輸入してから五十年、以前に支那文明を輸入してから五百年後の傳統が、我國の今日となりました。

我國は刑法、商法、民法、續いて帝國憲法の如きを歐米の法理から參酌して拵へてある、鐵道電信は勿論、日常着る着物、食ふ食物、ありとあらゆる品物が皆歐米文明の勢力を蒙つてゐる。然るに若し我國が何事も歐米のやうになつたら[illegible]

族制度から生ずるのである、故に我國の家族制度は遠き將來までも存續せしめ、我國の特長發揮に努めねばならぬ。

結論

近來の風潮は兎角歐米を崇拜し何事も其の文物制度を模倣して自國の物を輕蔑し、我國の特徵を失ふ風があるのは嘆ずべき事である。歐米にも他山の石として取るべきものもあるけれど、その缺點も尠くない。現に歐米人は自國文明の弊害に堪へないで、東洋を羨み我が盲目的なる歐米崇拜者の行爲を嘲笑してゐる次第である。上流の如くであるから、我國民は大に反省して歐米を崇拜することを止め、我國固有の精神を發揮し、あらゆる弊害を排斥して益々此等の維持と發揮とに努めなければならぬ。

何れの時代でも狂氣にみた學者はあるもの、歐米心醉の博士や學士が危險思想を鼓吹するからとて何等悲觀するには及ばない。吾々の祖先が、支那文明や印度文明に對して奮鬪したやうに、堅忍不拔の精神を以て之に對したならば危險思想はいつしか消滅するであらう。

思ふに我日本帝國の前途は洋々たる春の海の如くである。將來世界列國の上に雄飛せんとするものは即ち我日本帝國である。我國體は世界の如何なる國よりも優れてゐる。國の元首でおはす天皇陛下は實に國家の統治者であるばかりでなく、實に日本民族の宗家である。他國の元首は何れも征服者か、左もなければ人民の推擧による一個の總統領に過ぎないが、我國の天皇陛下は民族の宗家として、皇統連綿として以て今上陛下に及んでゐる。而して臣民も亦皇室と共に國を肇め、國を拓き、國を開き、建國以來二千五百七十九年の久しき間、君臣一致して國の擁護に力を盡したのである。而して之より國民の道德を養ひ、歷史を通じて外國人の爲に寸地をも侵略されたことはない、斯の如き國體を有する民族が世界の何處にあるか。

我國は家族制度の國である。皇室は大宗家であつて、臣民はその家族の一員である。我國が一大家族を成すのは單に社會が家族を單位とするばかりでなく、國民は各々の家族に於て、家長と一家の爲に盡す如く、日本といふ一大家族に於ても宗家たる天皇陛下を元首に戴いて、國民は其の保護の下に元首の爲に生命を捧げ奉ることを名譽とするのである。之が即ち忠君であり愛國である。愛國の行爲は外國にも其例はあるけれども、忠君の行ひを完全に具へることは出來ない、忠君を以て日本特有の現象であると外國人の驚嘆してゐるのは無理でない。獨り我が國の如き國體あつて、始めて完全なる忠君の行ひが出來るのである。殊に代々の天皇陛下は仁慈の德を垂れさせられ、常に國民の爲に心を用ひさせられてゐる。故に我國民は[illegible]

殊に我國の誇とすべきは、先天的の武勇と愛國熱烈なる精神力である。而して之より國民の道德とも見るべき武士道が生れた。我國特有にして他國に比類を見ない武士道は、我國民をして世界に雄飛せしむべき必須の要素である。

斯の如く我國民は精神力に於て、實行力に於て、優秀なる國民である。充分世界に雄飛すべき資格を有する國民である。既に日露戰爭中の旅順の攻圍や、日露戰役に於ける奉天の攻圍などは其の好適例である。敵は天然に據つて、近世科學の粹を盡して防備を爲してゐる、而して攻擊することは僅に數ケ月で旅順の陷落を見るに至らしめたのである。此の如きは武器の勝利でなくして全く精神の勝利である。武器よりは肉彈、肉彈よりは精神で戰つた結果である。文明の利器だと誇るさは全く根本の精神にある。即ち大和魂にある、この大和魂さへ十分であるなれば世界に雄飛することも決して難事ではない。

將來世界に雄飛するべき國民は我日本帝國の國民である。我國民は十分に其の素質を具へてゐるのである。所謂我國固有の國體を擁護し、大に國民の精神を發揮すべく奮勵努力せねばならぬ。

原首相と女子參政權

▲尊重すべき天職を忘るゝ勿れ▲生理學上男子と同等の權なし▲人類の絶滅を企圖するなかれ

有田ドラッグ商會主　有田音松

[illegible]ある爲である、男女の兩性は生理上、體質に於て、大な[illegible]引去つたならば、戀愛は空虛であ[illegible]る、女は暗ち何うあつても愛情を以て自己の生を完うせねばならぬ。

やつと乳離れのした位の幼い女の兒さへ、自分と同じ位の人形に華麗な扮裝をさせたのを抱いて、「坊やは戀愛ね」とか「坊やは何ぜ泣く寢んねしろ」とかの子守歌を口にしながら遊んで歩く、可愛らしい女の兒が、自分が子供であるといふことも忘れて、人形を自分の兒でもあるかのやうに可愛がつて居るのである。五ッ六ッの女の兒にさへ「子供は可愛い」といふやうな、漠然とした淡い觀念があるのである。

「子供」といふ事が女の思想を支配する全部である。故に女は冷酷なる夫から忍び難い虐待や、堪へ難い屈辱を受けても「子供があるから」とか「子供が可愛相だから」とか、いつて屈辱を忍びもし堪へもするのである。「子供は可愛いもの」といふ事は、無教育な、道義心の薄い女でも、野蠻人の女でも、尚且意識してゐるのである。世界中最も野蠻人と稱せられてゐる阿弗利加のネグリトスの女でさへ子の可愛いことを意識してゐるのである。彼等は妻子を連れて獵に出で、若しも猛獸に出會つて船の自由を失ふと、男は自分の妻子を棄て、自分ばかり陸上に向つて逃げ出すのであるが、[illegible]

十六歳にして始めて天癸を見るものが多い。月經の閉止期も氣候風土等により異なり、通常四十歳乃至五十歳である。

月經時の衛生。月經は姙娠せんが爲めの作用に外ならざれば、之を缺くもの、或は全然缺如せざるも順調ならざる者等は多くは姙娠しない、されば月經は婦人に取りては最も重要なるもので、生殖の基であるから、意を致して衛生を守り、之が異常を招かざる樣心掛けねばならぬ。殊に月經前日には最も發生を肝要とし、出來得るだけ攝生せねばならぬ。左に守るべき攝生法を示さん。

一、月經中は特に精神を安靜ならしむべし、驚愕、悲哀、憂慮等の刺戟を避くべし。

二、身體を安靜にし、運動、勞働等を禁ずべし。月經時は下腹部の諸機關充血して骨盤の諸臟器も過敏し易し。從つて種々の疾患を招致し易し。女學校に於て教師の不注意の爲め、月經中長く腰掛に坐せしめ或は體操を行はせ、爲に腹部を非常に疲勞せしむることがある、これは頗る有害である。

三、刺戟強き飲食物を用ひず、又暴飲暴食を愼み、消化し易き食物を攝取すること。

四、消渴ある婦人は、前日より床に就くべし。

五、交接を禁ずること。

六、寒冷の氣に觸れず、下腹部、腰部は冷えざる樣注意すべし。

七、入浴すべからず。

八、陰挫は必ず消毒脫脂綿を用ふべし。

九、殊に月經の初潮は心理的大變化を來すものなれば、母親は十分監督と攝養法とを教示すべし。

十、月經初潮に疼痛其他異常を覺ゆる時は適當の手當を受くべし[illegible]

ならぬ、少しの注意を缺いた爲に意外な病氣を起して、それが爲に生命を失ふ場合があつたり終生病に惱むやうな事があるものです、產後に於て最も罹り易いのは[illegible]

つて、假令病的でないにしても、種々の病氣に罹り易い狀態にあるので攝生上十分の注意を要するものであります。產後九十日は特に身體を安靜にし、產褥中に平臥して居らねばならぬ。[illegible]人は三週間位產褥に在るのが安全であります。

以上述べた如く女子には月經時期と姙娠時期とがある故に婦人は男子と同樣の活動が出來ないのである。若し男子と同じやうに活動するとしたならば、不姙症に陷り、生殖作用に一大影響を及ぼし、終に人類絕滅の不幸を見るやうになります。故に女子は家庭的生活を營みて其の天職たる生殖保育の重大なる任務を盡さねばならぬ。然るに原首相がゆく〳〵は女子にも參政權を與へねばならぬと公言したのは、予の怪訝に堪へない所である。國務の局に當る首相で而も重厚なる原首相の口より女子參政權論を聞くとは予の夢想にも及ばざりし所である、原首相が時勢の進運に伴ひ女子にも參政權を與へざる可らずと思惟するとせば、予は其の淺薄に驚かざるを得ないのである。原首相が時勢の趨移を見るに[illegible]ものとすれば其の輕率を誡めねばならぬ、思ふに博學多才の原首相が生理學を知らない筈はない、若し女子をして其の生理學を知悉し居るとせば女子をして其の天職を忘れしむるが如き參政權附與の勢へを持たない[illegible]であらうと斷ずるのである。

賢母　楠正行の母

楠正成の忠臣楠正成の妻は非常なる賢夫人であつた、正成湊川に戰死し、その首級河內に致さるゝや、一子正行痛惜の餘り、突然佛間に行きて、自殺せんとした、賢明なる母は之を察知して走り出で、正行の手から刀を奪ひ取り、儼然として、汝櫻井の驛[illegible]

[illegible]より取りし形見の守刀を忍せよ、この刀は[illegible]

賢母　孟子の母

孟子幼き時、其の家墓地に近かりしより、常に葬式の眞似をして遊んだ、母之を厭ひて家を市に移す、孟子又常に商賈の眞似をする、母更に家を學校の傍に移す、今度は俎豆の眞似をした、母も安心して、こゝを永住の場所に定めた。孟子が少しく長じて遠方へ修業に往つたが、學業半ばで戾つて來ると、母は次座に今織りつゝある機を小刀で斷ち切つた、そして「學業半ばで廢めるのは、この織物と同樣で何の役にもたゝぬ」と意見した。かくて孟子は再び修業に出で、終に大儒となり、孔子の教を祖述して天下後世に令名を殘した、之も全くは母が教育の結果である。世に之を孟母三遷と云ひ、孟母斷機の誡とも稱して居る（この挿話は子供の躾方も知らずに參政權が何うの此のと飛び廻るお轉婆に煎じて服ませたい）

波蘭攻勢疑問

過般新聞紙（露國政府）はデニキン將軍ユデニッチ將軍及びコルチャック

鮑督辦辭職

鮑貴卿氏は天津より「余の眼病は手術を要する故東支鐵道督辦及び護路司令の兼職を解かれ度し」と政府に電請し來れるが氏は追つて晉京す可しと（北京電報）

駐英大使珍田捨巳子の後を襲ひて同國駐在大使に任命せらるべき關東廳長官林權助男は來る廿三日頃東京の豫定にて（東京電報）

其の他は……支那北部より滿州方面に擴張せんとする模樣あれば明日各地概ね好晴なるべし

氣溫　十七日正午　二〇、八　明日最高　二三、三

商況

株式

東京株式（至急電報）

十七日第一立會　前電比較

東株　二二四、九〇
同新　一一九、九〇
一新　一一八、〇〇

東京現株特電

十七日中値　拂込　▲騰貴△下落　時價

郵船　一〇、〇〇　△二二六、〇〇
同新　二五、〇〇　四七、〇〇
朝銀　五〇、〇〇　△五八、〇〇

大阪株式（至急電報）

十七日前場寄付　後場大引

大株　一三五、一〇
同新　一〇八、九〇
商船　一五四、一〇
同新　七二、五〇
鐘紡　八九、〇〇
同新　二八〇、五〇
東紡　二五七、六〇
同新　一四五、〇〇
米取　一〇五、四〇
上取　六四八、一九〇〇

安東現株特電

十七日　十日限　廿五日限
安東寄　二六、八〇　二七、四〇
安取止　二六、八〇
十五日限出來高　七〇〇枚
廿五日限出來高　二〇〇枚

安東銀相場

十六日（現物中値）
小洋銀百圓對金　一三五、〇三〇
中國票百圓對金　九七、九六〇
大洋票百圓對金　一一七、五〇〇

京城現株

標準値段　▲前日比騰貴　△同下落

	拂込額	標準値段
仁取	四〇、〇〇	一一七、〇〇
京株	一二、五〇	▲三六五、〇〇
安信	一二、五〇	一二七、〇〇
鮮銀	一〇〇、〇〇	一二八、〇〇
同新	二五、〇〇	五一、〇〇
殖銀	五〇、〇〇	△五九、〇〇
同新	一二、五〇	△一九、〇〇
鮮鐵	五〇、〇〇	四〇、〇〇
東拓	五〇、〇〇	△六〇、〇〇
仙敦	一二、五〇	二一、〇〇
鮮土	一二、五〇	一五、〇〇
大土	一二、五〇	一〇、〇〇
朝窯	一〇、〇〇	▲三一、五〇
朝紡	一二、五〇	△二三、〇〇
南毛	一二、五〇	△二三、〇〇
朝糖	一二、五〇	二八、〇〇
電興	二五、〇〇	一四、〇〇
皮革	五〇、〇〇	一八、〇〇
朝畜	一二、五〇	一〇、〇〇

東京先物別報

（十七日前場）郵船一五六、〇〇▲新七一、一〇▲東汽四六、八〇▲商船八七、七〇▲富士紡一一九、〇〇▲鐘紡二七九、六〇▲日清紡一〇一、五〇▲東京毛織一〇一、六〇（近藤商店入電）

東京現物氣配

（十七日午前）東株二二七、〇〇▲郵船一五〇、〇〇▲新七〇、〇〇（高松商會入電）

當分は保合か

大相場に馴たる目より見る爲めに大に動くならんと思はれるも投げべきだけは投げた揚句であり又た值が値の淋しくなりて事實賣買や採算より見て大なる下値のありとも想はれぬ値頃となつて居るから之を突込みて買進る手口も無い一面に於ては株價は割安の値頃にありとする

も株價の値下りに困りて少なか

波蘭攻勢疑問（續）

らず思惑資金の減少したのみならず銀行の尙ほ警戒を嚴重にして容易に貸出しに應せぬ現狀なるに於ては此の安値を買進みても大なる收利があるかドウかは疑問であると新規に買はんとする向も少ないから商內は日に減少して大株大新にさへも見るべき手口の乏しくなつた位である。されば相場も此の現狀から推して考へるならば惡るそうに見ねても新規に賣る向もなく投物も出盡した揚句であるし反つて突込んだものが利喰に取掛つて之に相場は下支ねらるゝと同時に宜さょうに見ねでも進んで買ふて來るもの無い剩へ高値の賣玉を維持し來れる向の賣物を喚びて之に頭を壓ねられて伸び難くして當分は小高下の保合を繰返すの外ないと共に商內も段々細まつて來るのではあるまいかと想はるのである（大阪）

株式現物問屋

京城明治町貳丁目

店主　松本卯市

松本商店

電話三〇四番　電話四七三番

◎株式投資家は顧客本位の弊店を御利用あれ

一齊安寄付

別項記載の如き事情の下に昨今の內地相場は殆んど見るべき變動なく僻して保合ひながらも今朝入電は休日前の引値に比し一齊に安寄きを演じ即ち大株四圓安新一圓安郵船小一圓安新變らず商船變らず鐘紡六圓五十錢安新十圓安積目が其他東洋紡三圓安東洋紡二圓安上取四圓安を示し居れるか只堂島米取のみ三圓高を移したり

鐘紡株續落

鐘紡新舊は大阪筋の買持ち玉が福田政の肩代りに依つて全然灰汁拔けせりと傳へられたるに拘らず今朝寄付きは休日前の引値に比し舊株六圓五十錢安新株十安を演じ益々不味の成行を示せり

公債株式現物問屋

大阪狩田ビルブローカー銀行代理店

丸二株式店

京城永樂町二丁目

電話長二四五九・二九四八

受信略號（〇二）又ハ（〇）

京株又引締る

京株は十五日の創立總會に於いて一部の制當不平者より犬甕的訴訟提起さるべしとの說あり之れが爲め或は會社成立の延期となり延いて面白からざる問題を惹起せずやとの懸念は幾分同株の氣勢を挫きたる觀ありたるが事實は案外にも平穩無事に終了したるを以て安心買ひとも稱すべき買物弗々現はれたる趣きにて休日中の內氣配頗に引締り三十七圓ならでは賣應せざる振合ありて今朝も六圓五十錢の買手あるも賣物薄にて底固き成行きを示せり

殖銀小一圓安

殖銀新株は權利八圓處の手合最も多かりしが昨今は賣物益みに七圓より六圓五十錢に低落し十九圓五十錢より九圓處にて三四百の商內出來せるが跡十八圓五十錢と安値を付けらる、振合ありたり

公債株式現物問屋

西村商會

京城若草町百六地番

長電話三〇豊富番三二六三番

朝紙材料思ひ

朝鮮製紙株は昨今三十五七圓を唱へ居れるが最近東京の現物店より三十五圓賣八圓買りの案內一時六十圓以上の高値ありたる狀各所に舞込み何等かの材料潜在を思はしめ居れり

森鐵株內地安

森林鐵道は權利二圓處の商內一時多かりしも這般のプレミアム剝がれ受けて忽ちプレミアムを剝がれ五圓拂込み四圓見當を唱へたるが東京にては昨今中値二圓に低落し居れり

謹告

元店員　井口龍昌

右之者五月四日限退店ニ付同人ト同姓ノ關係上取引上不便ヲ生ズル處有之候ニ付御誤解ナキ樣此段謹告候也

京城府光化門通貳丁目

公債株式現物問屋　二和商店

代表者　井口陸造

東亞新小堅し

東亞新は最に二十圓拂込後二十九圓に低落せしも採算筋の買物を呼びて忽ち三十圓と掻け一圓と仲び三十一圓より一圓五十錢處の買物依然細ねざる結果昨今は再び三十三圓と引締りたり

京城現株市況

今朝市況は日曜明けの事とて一般に見送りの態度を取り手合拂々しからざるに掲てよ內地の一齊安寄りを入れて人氣引立たず唯京株の三十六圓五十錢より七圓見當を唱へられて氣配き成行きを示したる外東亞新の三十二圓と小締り氣味を呈し居れる外は一般に下げ惑はれ二十一圓より二十圓五十錢の手合盛んに行はれ居たる殖銀新の如き十九圓五十錢より十九圓に落ち唱へ十八圓五十錢と殖利六圓に低落せり倚鮮銀も當地は舊株百二十八九圓新五十一圓より一圓五十錢を維持し居れるも內地は百二十六圓新四十七圓處を入れて氣弱く其他朝紡二十圓前後二十三圓見當を唱へられたり

大阪場面觀

崩れさうで崩れもせず去りとて思つた反撥もなく市況は依然閑散不活氣動ともすれば嫌氣になりたがる既に市場は恐怖病に罹かつて居るのであるから捗々しい市況を見得られぬのも無理はない仲買の懷は這般の整理處分で其多くは買ひ持ちとなつてしまつた爲め地場は何れも上買成であるが何にしろ新規の買物を誘致し難い狀態であるから止むを得ぬ▲取引所としても此の上崩落でも演出しやうものなら殆んど萬策を盡した揚句であるから萬一そんな事にでもならうものなら此度は全然打壞しとなつてしまう▲であるからドウカ戾つて來ればよいと高からん事を希望して居る仲買も前記の樣に高買成であるからドノ立會を見ても無理に買ひ煽つて居る樣にしか見ねぬ▲であるから立會振りを見ては誰れも買へぬのみか

現物問屋

公債株式

白井商會

白井友之助

電話長六三三

王世子殿下御歸鮮ノ際ハ供奉参列ノ栄ヲ辱フシ…（廣告）

兜町だより

[illegible]も相當の反撥を告げるのは常然で實際に於ては最早や絕對に下けの餘地がないのみか相當に戾すべきであるが只外部の力が之れに添はぬと云ふのが現在の狀態である▲であるから何にも地場が無理に買ひ支へて居るのでも何んでもなく實質に於てたけ得られぬので人氣では大勢を支ふる事は出來ぬまして斯くの如き買ひ氣の萎縮してゐる場合如何に地場が買ひ支へやうとしても幾日も支へ得るものではない▲味の惡いと云つて買はれぬ所に妙味があるので恰度銀行が金があつて貸出しを警戒して居るのと同じ樣に世間の資產家なるものも人氣の動搖を厭れて手控へて居るのであるから何處か一方に口が明けば一時に立直つて來ないとも限らぬ

▲郵船は現金積立式で一株百六十圓がものはある若し夫れ所有土地、建物、船舶其の他の機械、什器等を通算する時は一株七百五十圓に當るこれ其の眞であるは更らに航路上に於ける特權を加算せんか一株一千圓といふても決して高い者で無い……此の海運界の不況時に際して四割配當を支持した所以も亦た此處にあるのだと一株主は慨慨して居た▲紡織操短は紡績株にとつて決して樂觀材料では無いが操業短縮によつて綿絲布界の慘狀が救はれるとしたなら漫更惡材料でもあるまい▲綿絲布關係者は紡績會社から下小賣店に至るまで殆んど絕體絕命の悲境に沈で

正米薄杞憂

再び十錢と押し返く十九錢と戾して打止めたるが現下の四十一圓處は硬軟双方共に相當に理由を有し居る際とて此邊上下何れにも動き兼ねるが如く市況は一般新動機待ちといふ姿にあり

財界の前途悲觀に買見遍りし軟派も今朝の場面を眺めては余り安心買りを許さゞるもの、如く中には崩れ退かんと氣焦り居る向もあれば亦追證を納入して此邊に固守する方然からんと主張する向もありて步調漸く亂れんとする場面も頂米の保合ひより其の反動的に崩れ易きを感ずると同時に正米の實勢が前途に侮り難き勢を保ち居るを觀測せる者の如く買ひ安心の態度に出でんとする向も多引されば來る傾向は其の成行に存在し最近の壓迫を受けつゝある力に牽引されば自然特別米は事實に於いて品薄たるは疑ふの余地なきを悲しめつゝあることゝ同時に眞の海上期に入らんとする本年の枯渇より逆に當局の救濟を仰ぐか如き事なきやと追憂を加へつゝあるもの、如し

大勢賣採算買

場面は依然財界の大勢悲觀買に對する定期の割安乃至在米の減少觀の採算買ひにして戾りは賣られ押目は買はれ上下動も依然大保合圈內の往來を反復するに過ぎざるが既に財界の大勢が下觀として戾り賣り一點の外無きものも三ケ月勝負の定期米にありては正米が近き將來に於て悲運崩れ來らざる限り不測買りの憂を惹起し理想に勝ちて買

市場雜觀

目は双買手を緩めず十六錢と手堅く引下げ又復二圓〇九錢と押し返し

▲第二節　當中出來ず先二十錢より小口の捌氣投げに〇九錢と弛み半買に十錢と小戾して引

相場師の秘訣は金より度胸といふ事もあれば當限の買方も玆ー番褌をグウンと締めて渡すよう受取りましょうと假令強勢でも度胸を極め込んだら無い米を有ると言ひ張らして御座らうに賣方の方から解合ひとの形となつて歇派は青菜に鹽の如く正午下かりの朝顏の樣に先に萎れて仕舞うなどは確かに昔の如き藤と其の趣を異にして來た南浦でこそ加藤ーいへば巾も利かうが此の市場へ飛んで來ちや未だくなど、皮肉の聲むも耳にするが併し今節當高二千石余の買玉を固持して居ると傳へられ居る▲之れに對する賣方は南浦の齋藤筋とか云ふ米界では其名を知られて居る人らしいか今度計りはドチヤら苦商が付かぬ畑向があるのみか市場一角の噂に依ると某手持居に肩代りを頼ふたとか亦南浦から廻著する相談に身替りとして借り受ける米を川米など軟派には役者が揃つて居る丈に賣方の氣を挾くのに援目がないらしい▲が其の噂んな事は余り信じられんと云ふ何うなるのかは見物であらうしてる向もあるので此の納まりがこれを大體から云はしむると軟派が賣繁いだ時なんか今にも二十五圓が出さうな氣がして買方に對する悲觀の雖は何の位い高かつたか分らんでしたのに五百石以上も踏返して居るのだから假合之で解合ふにしても度胸を極めた丈苦辛の賜であると同時に今一つシッカリして見たら何うじやらうと歯痒かつて居る向もあるとか

米況

◎日銀帳尻　五月十五日現在左の如し

發行高　一、一八〇、三三三、〇〇〇
正貨準備　九一一、六四四三、〇〇〇
限外發行　一四三、八八九、〇〇〇
貸出高　六八一、一二九五、〇〇〇

◎鮮銀券日報　五月十五日の現在左の如し

發行高　一一九、七四六、二八七
正貨準備　四七、七八四、三四〇
限外發行　二一、九六一、九四七

▲小路前農相は極力反對意見を發表して居る……如何にも現行法の下に取引を繼續するといふなら仲小路氏のいはる、通り小口落らしは害のみ多くして效果は少ないから物資的にも自殺し現行法では精神的にも仕舞つた條件を今日他くまで現行法を金科玉條として之を論ずるは死物同樣の現行法に囚はれたる空論となりはせぬか▲……今日小口落を解禁せよといふは現行法の下に小口落を解禁せよといふ意味に非ずや現行法改善の第一步として組織の改造を加へ聽て來たる部可き理想的な改善案の道程たらしめんとするにあるのみ乃ちは「條件附復活」といふは名は小口落の復活なるも事實は復活にあらず組織一部の改造たるとを諒せられよ▲マンチエスターの綿絲は換算八百二十八圓の高値に消化されて居る……日本國內に於る綿絲の三百圓落と對照していかなる異感に打れさるを得ない

一種の異惑に打れさるを得ない

東京期米特電

十七日前場　寄付　四十三圓八十錢　先限
同　中限　寄付止め　四十二圓七十五錢
同　中限　止め　四十二圓七十六錢

十七日前場（氣配ホゲ）

休日前阪地引際の高移りに刺戟されたる買物に四十一圓七十一錢と盛返して打止めたるが引跡大阪四十一圓四十六錢の高値止めを報じ日曜氣配又二三十高の六十四五錢見當を唱へしたれば今朝の人氣は滅切り高の五六十錢見當を唱へしに立會間際に到るや阪地氣配ボケの四十一圓二十九錢の前附を早耳せし買物も見り現れ當出來ざるが中四十一圓五十錢と始め先四十一錢と氣配ボケの一丁安に寄付〇二錢と追擊賣り現れしが押目は地場二流筋の買物に支へられ二十二錢跳返し戾り待ちの双の買りに十五錢と小弛みして引

▲第二節　當出來ざるか中の買ひに五十五錢より六十錢と引締りしも先限は十五錢より買方の見送りに〇八錢と押し十二錢と保合に引

▲第三節　當中出來ず先四十一圓十錢と閑散に引

▲第四節　當出來ず中三引買に六十錢と始め先〇九錢より四錢と下辿りしも阪地電報延着に軟派警戒して跡賣物かす再び十錢と小戾して引

▲第五節　當出來ず中七十錢と採合ひの機先大阪四節週力買に綜々手堅く先〇九錢より十一圓三十九錢の高移りを早耳せし双大五買に㊥好く買ひ三十二錢と強調を示せしも戾りは再び小口の手詰め賣に壓せられ再び十錢と追込み押目は前手口の買に二十錢と返し十九錢と底堅く打止めたり

新動機待ち

阪地の氣配呆けに買氣を阻喪し地場二流筋は煽揚を試むる動機を失せしが如く今朝は四十一圓十錢と不勢に始め〇二錢と下辿りしが安値正米の強調より軟派の買物添はず茲硬軟氣迷ひを深め自然持合を餘儀なからしめしが引際に臨み大阪四節の高移りに刺戟せられ双大五買に三十五錢と踏上げたる昨今の阪地成行きは大體が浮動的なる丈けに無意に飛付もならず跡買殺かさるのみか手詰め急きに壓せられ

東京期米特電（後）

仁川期米

十七日前場（氣配ホゲ）

大阪期米特電

十七日前場　日後場
當限寄付　四十二圓十二錢
同　止め　四十一圓九十四錢
中限寄付　四十一圓四十九錢
同　止め　四十一圓六十一錢
先限寄付　四十一圓六十一錢
安値　四一、二九
高値　四一、二五

神戸期米特電

十七日前場　日後場
當限寄付　四十二圓四十五錢
中限寄付　四十一圓七十一錢
先限寄付　四十一圓三十九錢
高値　四一、五五
安値　四一、四一

下關期米特電

十七日前場　先限　中限　當限
寄付　四一、〇八　四三、三
高値　四三、二〇
安値　四三、二〇

群山正米特電

本月末四十三圓八十錢來月中三圓七十錢同末三圓八十錢現物四十四圓丁度（十七日）

双方氣迷ひ

一起一伏の波瀾端睨すべからざる裡にも久しきに亘る保合相場には双方共漸く疲れ氣味を生じ安値には那々値頃觀の新手買ひの傾向ありて兎角下値淋しく夫れ丈け强調を失はざる振り合ひなるが上値には警程に買添はず而かも目前の人氣は甚しく安定を欠ぎ些細なら言ひ草だにあらば之を肴に小掬ひせん野心を有する二流以下の手口あり去ればら高さが果たして氣味の直れるや將た安きが殆んど綴いて悪化の第一步なりや殆んど仕手双方は依然氣迷ひ見途り戀れ度を探りつゝあれば斯る商狀を繰り返すも眞に無理なき處なるべく要は今後の天候と農家の居れる丈け他日の波瀾は面白かるべし而して角此の處が又一面より見れば相場の疲れが當分特殊突發事情のなき限り例に依つて此の不透明商狀に推移す

突房にも一理ある所にして六ケ敷相場と見られつゝあり

一倉重仲買店

仁川米豆取引所仲買人

電話（長三一〇、六〇三六）

十七日前場

	寄付	高値	安値	止め
當限	四一、二九〇	四一、三二〇	四一、二二〇	
中限	四一、三〇〇	四一、一六〇		
先限	四〇、九二〇	四一、〇七		

平均値段　一節　二節　三節　四節　五節

現在取組高　當限　一萬千八百石　中限　三千六百石　先限　五萬二千八百石

出來高　二十二萬千七百石

後場商內閑散

前場引際阪地の手堅き移りに三十二錢と返し十九錢と氣丈に引せしが引跡大阪前場止め四十一圓二十九錢の寄値に落したれば後場は益々氣迷ひを深め寄合へば當出來ず中四十一圓十五錢と四丁安に始め先四十一圓〇七錢下辿りしも買方に寄付〇七錢下辿りしも買安に㊥好く買二十二錢と盛返し

京城正米市場

產地出廻り依然として見るべきものなく殊に昨今は雨量不足の爲めに苗代不良の爲め荷主の出荷愈々減退して買附日増に困難となれり必需口は自然値を以つて品を呼ばんとする振合ひなれば勢ひ氣配ひの昂進を促かし今朝は三十錢高の押揩上玄四十四圓五十錢見當を唱ふるに至れり

白米引締まる

白米は原料の買附の困難にて市中精米所は何れも其日の原料にも窮せる有樣なれば次第に買腰強く卸値は又復今朝三十錢高の五十一圓八十錢處を唱ふるに至れり

粟益々弱し

粟は金融の梗塞と荷動き不振の際叢約品の輸入漸次突斷け市場の滯荷漸增の一方にて且つは新麥の出廻りを控へ居る等相場益々下押しとなり今朝は海城現物十八圓覇みの安値に落込みたりも前約二萬袋の入荷ありたるも前途挽回の機運遊ぶと觀てか殆んど其全部を投げ退けるやにて益々氣樣を生ぜり

仁川正米市場

定期は兎角伸び悩み形勢あるに反し正米は產地出廻りの皆無に加へ京城方面より必需口の買物褒ろへさる爲め今朝は五十六十錢高の忠清道三等合格四十三圓八十九錢より一圓見當を唱へ居るも手持筋は高値當時の思惑米で安値には賣應せず

大阪三品特電

十七日前場
五月限　三一〇、二〇
六月限　三一七、六〇
七月限　三五四、九〇
八月限　三五七、九〇
九月限　三五五、〇〇
十月限　三五五、〇〇

新株第貳回拂込廣告

一拂込金額　一株ニ付　金貳拾五圓

一拂込期日　大正九年六月壹日

一拂込金取扱場所左の通

株式會社第一銀行本店及橫濱、大阪、京都、名古屋、四日市、下關、神戸、京城、釜山の各支店
株式會社三井銀行本店及橫濱、大阪、京都、名古屋、門司、長崎、廣島、福岡、深川、神戸、小樽の各支店
株式會社三菱銀行本店及深川、大阪、神戸の各支店
株式會社臺灣銀行本店及東京、臺中、嘉義、臺南、基隆、打狗の各支店
株式會社三十四銀行本店及東京、臺北、臺南の各支店
株式會社日本興業銀行本店及日本橋支店
株式會社帝國商業銀行本店及大阪支店
株式會社住友銀行本店及（東京）通油町支店
株式會社中井銀行本店及日本橋支店
株式會社漢城銀行本店及東京支店
株式會社山口銀行本店、株式會社豐國銀行本店
株式會社安田銀行本店、株式會社愛知銀行本店
當會社東京出張所（日本橋蠣殼町）

以上

大正九年五月十五日

大日本製糖株式會社

印畫紙新荷着

永らく品不足の爲め各位に御迷惑を相掛け奉深謝候
幸ひ今般停貨中僅入荷致候間不相變御用命の程偏に奉願候
敬白

全紙
アチュラA
同C（厚手）
カーボンブラック
ブロマイド
パーゼツト（白金臭素紙）
クロリーグロシ
ピーオーピー
アゾA（厚手）
セミグロシー（最近入荷）

中板及葉書
コントラスト
ベルベツトペロツクス
スペシアルベロツクス
レキシユラーベロツクス
グロリーパーパー
カーボングリーン
カーボンブラツク
アチユラ
同
アゾ　ACA
ノーンカーリング（中板ナシ）

京城南大門通三丁目
上田寫眞機店京城支店
（電話長五四九番）

開業御披露

謹啓各位益々御清榮之段奉慶賀候陳者弊店儀左官材料一式精々廉價販賣仕候間多少ニ不拘御用命之程奉願上候
敬具

營業科目
石灰　セメント　蠣灰　布苔　海苆　亭土　色土
色砂　玉砆　煉化　土管　住藻土　支那麻
挽墨　江戸墨　青竹

京城古市町拾四番地
東洋塗料株式會社
電一三四五
本町二丁目支店
電一四七

內科
胃腸病
診察夜九時迄
京城本町一丁目
石川醫院
電話一三九〇番

補血滋養藥

志賀醫學博士指導製劑
佐藤、安倍醫學博士實驗推奬

ネオヘマトパン

本劑は血液を營養增殖すべき純ヘモグロビン及腦神經を賦活ならしむるレチチンを含有す、故に本劑の服用は身體を强壯にし精力を旺盛ならしむ

本劑は十年間全國知名醫家に實驗賞用せられ之が二百餘名の報告は中込次第進呈す

效能　貧血諸症、肺病、肋膜炎、十二指腸蟲症、過勞、神經衰弱、產後、貧血諸症、小兒營養不良等

一瓶百五入金貳圓五拾錢　送料拾貳錢　各地藥店に販賣す

京都市下京區古川町三條下ル
發賣元　日本新藥株式會社

特約店　京城本町四丁目　宮本千粒堂藥局

猪印のみどり粉

品質—精良至純
效力—强烈無比
聲價—洽轟歐米

株式會社　安住大藥房

營業品目錄

鐵物、諸雜貨、海產物、乾物、穀物各種、漆器、塗物、醬油、酒、砂糖、茶、金物、金物、荒物、花莚、雨具、文具、線、香油、家具、土管、硝石、紙類、土器、綿鐵、洗面器、日用品、陶磁器、セメント、コールタール、石油、其他日鮮人向日用品一切

◎高價買入

龍山（仁川新町）
津田兄弟屋本店
電話七六五番　振替京城三六九番

京城明治町二丁目
津田兄弟屋支店
電話一三四〇番　振替京城三二八〇番

黃海道載寧
津田兄弟屋出張店

愛浪家に告く

浪界巨頭　近日再び來る

東家　樂遊

師獨得の音調と益々洗鍊されたる其技巧とは眞に浪界の權威？

高等演藝場　浪花館

サクラビール後援

サクラビール後援

剣舞 (六)

碧瑠璃園　挿畫 森田ひさし

何處まで (六)

欣作は暗い心で妻の實家の暖簾を潜つた、主人の榮之助は留守であつたが、母のお鶴も姉の周子も家に居た、欣作は丁稚に誘はれて茶の間へ通つた

『よくお入來下すつたわねえ、わたしも一度お尋ねしなければなりませんのを、思ひながらつい御無沙汰致します、お母さんもお異りはございませんか』

お鶴は番茶の煮花を侑めながら云つた、欣作は何から話して好いかに途惑ひしつゝ、まづ番茶をぐつと啜つて

『お蔭樣でお母は健康で居ま

の日も面白い思ひをした事はないでせう』

欣作は斯う云つて目を瞬叩いた、

『何ですよ、前田さん、妹は面白い思ひをする意志で、お宅へ參つたのではありませんよ、僻怜しいお母さんに仕込まれてこそ、始めて眞成の人間になるのぢやありませんか、わたくし共の樣に、母の膝へ甘へてばかり居る者は何樣に不幸だか知れやしません』

周子は欣作の心を引き立てるやうに云つた、欣作は太い息をほつと吐いて

す、實はそれについて御相談があつて參つたのですが……』と言ひかけて口を噤んだ

『おほゝゝ、お母さんが御健康で在らつしやるについての御相談、おほゝゝ、何ていふ不思議な御相談でございませうねえ、おほゝゝ、おほゝゝ』

お鶴は腹を抱へるやうに笑つたが、その聲は異に上滑りをした、それはお孝の話を薄々聞いて居るからであつた、

『こんな事をお母さんや姉さんの前で申し上げるのはお恥かしいわけですが、兼てお聞き及びになつてるやうな氣質で、わたしも實際閉口して居るのです、と云つて、天にも地にも掛替のない母を何うする事も出來ぬ理には參りませんから、徒らに心配の胸を痛めて居るばかりです、お母さんも姉さんも御存じは無いでせうが、菊枝は毎日泣きの涙で暮して居ます、恐らく一日

『僻怜しいにも程があります、母は僻怜しい上に無理を云ひます、叱るのでなく苛めるのです、肉身の親でさへ時々腹の立つことがあるほどですもの、菊枝は何樣にか辛いだらうと思うて、わたし實際──』と涙の袖で目を拭つて『菊枝が可憫さうになつて來ます』

『よく言つて遣つて下すつた、わたしはあなたのお言葉をきいて滿足します、菊枝もどんなにか喜ぶでせう』

お鶴は斯う下からぼら／＼と涙を流した

『ねえお母さん、世の中にわたし共夫婦ほど不幸なものはありませんよ、これが世間の習ひであつたら、何樣にかお芽出度いことでせうに、菊枝は歡びを抱いて泣いて居ます、察して下さい／＼』

『ぢや、もしや』と周子はすぐ思ひ當たつて『姙娠にでもなつて居るのぢやございませんか』

『さうです、姙娠して居ます、然も、もう六月です』

『ね、六月』とお鶴は驚きの目を瞠つて『わたし些とも知りませんでした』

『御存じない筈です、今まで秘密にして居たのですもの』

『何故お秘しなさるんですか、それほどお目出度いこと無いぢやありませんか』周子も不審らしく云つた

『そこを云ふのです、わたし夫婦ほど不幸な者の無いのはそこです、妻は初産です、母の爲めには初孫です、これが世間の親であつたら、どんなに歡んでくれるか知れません、けれど……』と云ひかけて聲を吞んで『わたしの母は世間の母と異ひます、妻の姙娠した事を知りでもしたら、それこそ鬼のやうな顔をしませう』

『まさか、あなた』

『わたしは恥ます、わたしは悲しみます、お母さん菊枝に同情を寄すつて下さい』

欣作はまた泣いた

人參丁夫
京城本町壹丁目 電話 一四八〇番 一八七〇〇番
津村兄弟商會

内科小兒科 皮膚花柳科
永樂醫院
院長 今村純義
京城永樂町二ノ七 西本願寺前 電話一九四四番

裁縫糸 式絹 カタン レース 糸製
糸卸 ビワコ屋
京城北米倉町 振替京城一六一五

日報詞苑

俳壇

迎春花 小山一雪（京城）

綻解けば船辷り行くや春の河
槍壁綴う齒筋下すや江の鵜
躑躅咲く丘なだらかや雉子の聲
鳳遊ぶ庭の梢や囀れる
巣鳥捕りに登る子供や椋鳥む
突兀たる山の御寺や朧月
父と碁を打つ夜の外や猫の戀
陽炎わる土手長々と牛車哉

○ 村上鶴堂（京城）

二階人に疎き日ざしや迎春花
感冒のぬけて皆の安堵や草を摘む
女雇員の足袋白う春日さす窓邊
棉を高く支へて春の大河かな
事務室のカーテンに春の日がさせる

○ 須藤待娥（平壌）

灯點る鐵段の物が皆光るかな
荷を解きて綠に並ぶる雛かな
放課後を球蹴る子等や桃の花
層塔のみ聳ゆ市井の霞かな
試驗終へし兄よ妹よ雛祭

○ 秋谷竹市（全義）

客を送りて門にさしたる迎鶯哉
作事場の騒音も馴れぬ春の雨
兒を膝に繪物語や蓬餅
山へ登る鑛夫の群や躑躅燃ゆ

○ 片山鳴月（京城） 往十路にて

城門に續く柳の一路かな

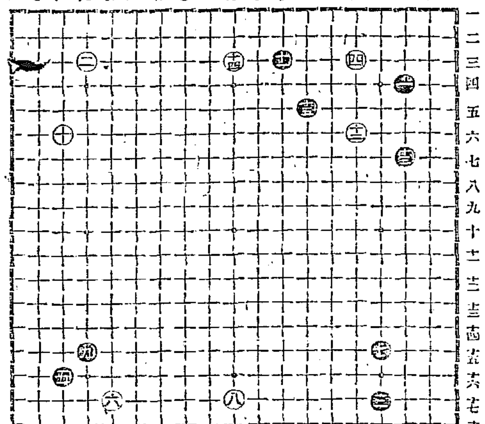
■晩春又は初夏の句を募る 數並に締切期日等なし

圍碁新局（一）

大正九年五月圍碁會（京城日報社後援）席上

先 關源吉（五段）
紀本體太郎（三段）

一	は四
二	た三
三	に十七
四	ほ三
五	れ十六
六	よ十七
七	に十五
八	ぬ十七
九	た十五
一〇	れ六
一一	ち三
一二	ほ六
一三	は七
一四	ぬ三
一五	と五



新刊紹介

▲漫遊漫文 當世百馬鹿（吉岡島平氏著並畫）著者自ら馬鹿を以つて任じ、本書亦自ら馬鹿々々しき戯と稱す、即ち馬鹿が馬鹿を追ひ廻して寫し得たるものであるといふ、おまけに荒めも集めたり百有餘、馬鹿、世の上下を問はず貴賤を論ぜず有ゆる馬鹿を描くに躍如たる漫畫の筆勢と流麗たる漫文の筆致とは一見して寛く全て笑はざるは云ふまでも無い（一圓三十錢東京小石川區白山前町大明堂書店）

▲木太刀（五月）猿に就て（大西一外）猿に關する傳說（萩卿、小桃紅）の外選句や會報で隨分賑つてゐるが殊に『季題新釋』の題下に收めた未だ歳事記に現はれざる季題に對する解說は初學者の最も好參考とすべきであらう（三十錢東京京橋區築地其社）

▲平和（五月）平和？（福田中將）なぞ巻頭に各派有力候補者列傳、明治大正幕内力士成績表、三横綱の一月場所其他脚本歌念佛（秋吉）新講談紙鳶のお百合（橋本）等を揭ぐ（三十五錢東京本所横網町其社）

▲大陸（五月）西伯利と過激派（山田美峰）軍備撤廢の進化時代（大渡候）大連市政と市事業（高濱素）西伯利經濟事情（調査部）女子と實用教育（高田博士）等（四十錢大連濃路町其社）

▲刀の研究（四月）化學より見たる日本刀（金子恭輔）水心子作品集（淺岡貞峰）某料私錄（前田又久）其他（五十錢東京下谷區茅町南人社）

▲教育時論（四月二十五日）十八錢東京麹町區飯田町開發社

▲黑白（五月）十五錢東京京橋區築地其發行所

▲鐵友（一七六）三十錢東京日本橋區濱町其雜誌社

▲亞細亞時論（五月）南面の美人たる勿れ（長瀨鳳輔）日支親善の必要を論す（副島博士）洮熱鐵道の價値（松田秋山）等（二十五錢東京赤坂溜池町黑龍會出版部）

▲日本魂（五月號）眞の國士を夢げよ（後藤社長）鄕土史料の研究に就て（萩野博士）獨逸の攻勢と其前途（長瀨鳳輔）其他を揭ぐ秋日本主義宣傳雜誌（三十五錢東京々橋區櫻橋南側其社）

▲朝鮮總督府遞信統計要覽（大正七年度）本書は大正七年中朝鮮に於ける遞信事業狀態を明示したるもので圖表、郵便、爲替、貯金、振替貯金、電信、電話、航路標識及船舶、遞信歲計等を一目瞭然たらしめ最後に朝鮮と海外各國の遞信事業の比較表を揭げてある（非賣品朝鮮總督府遞信局）

▲朝鮮總督府遞信年報（大正七年度）一、總論二、歲計及財産三、通信行政四、海事行政五、電氣行政六、附帶事業の各編に分ち大正七年中朝鮮總督府遞信局主管事業の施設經營に關する要項を記述したるものである（非賣品朝鮮總督府遞信局）

讀者の聲

▲本町の横好生さん私も老人の無職生にて横好の仲間に付何でも左記へ御越し下さい御相手となり升（花園町一三七坂田まで）▲櫻花坊樣始め京日讀者樣方へ御詫れ致します瀧鳴庭と申す人は何時頃の御方で御座いませうか聊に鳥がとまつて居る樹に『來て鳴てうなづかせたる柳かな』と書てあります瀧鳴庭とは俳人か畫師か御存じの御方は當欄まで御教へ被下度お願致升（京城府本町五丁目松芳）▲アイエッチ生樣甚だ失禮ですが御住所姓名を本欄まで知せて下さい 私も專門學校入學試驗を受驗する爲只今早大校外生として勉强して居ります何卒御願致します（E生）▲YH生に御答へ申す高等師範の出ですが私も高檢の希望で御當局の三講義はよく見た者は御座いませんがむしろ講義錄よりも教科書の方がよいでせう然し中等校で正當に就いて頂くのではありませんから又參考書が必要です英語の方では研究社の中等英語、英語研究等が最もよいと思ひます數學の新古書店に受驗準備の參考書が揃つてゐます『受驗と學生』といふ雜誌に試驗問題があります本年度の問題は中學世界四月號に出てゐます折角勉强な新ります（MQ生）▲私は永年淋病に苦しんでゐますが未だにどこもおかされてゐませんが治療もせず唯悶々として味けなく日を暮してゐる女でございますが新聞の廣告等で見ますと色々な名が目につきますがどれが一番よろしいので御座いませうか御試みになりました方で私を哀れと思召し何卒御知らせ下さいませ、また、いぼこんにやくの水で治ると御座いますがこんにやくをどうするので御座いませうか誠に申しかねますが今少しくわしく御知らせ下さいませこの事ふして御願申上ます（闇ゆる女より）

母の命

二重の喜び

難病平癒……嬉しき姙娠

たとへ賢婦良妻と呼ばれても、若しか子宮病に罹り、肝腎の女の務めが滿足に盡されず、それ頭痛だ、ヤレ眩暈だ、逆上る、肩が凝る、便秘だ、食慾が進まぬ、月經が不順で、或時は一度に多かつたり、又は二月も三月も無かつたりして、その毎に痛みを感ずる、手足が冷て、夜もオチ／＼眠られぬ、下腹から内股、腰の邊が引吊るやうに痛んで、腹部にゴロ／＼した固い塊が出來る、そして白帶下と稱する、ドロ／＼したおりものが、して其色の白い内は未だしも、段々濃くなつて、黃色となり青色となり、時には血が混つて出たりする。そんな工合で始終ブラ／＼寢たり起きたりしてゐるやうでは、第一主婦の任務を果すことが出來ないのみならず、自分では若しい思ひをして、加之夫婦の仲に無くてはならぬ子寶が一人も出來なかつたら其悲しさ辛さ、女の身として是程不幸の事はありますまい。若しもそれを

◎恥しいとかキマリが悪いとか云つて手當もせずに抛つておくと、子宮の炎症は更に卵巣から腹膜、腎臓、心臓まで冒して遂に一命を失ふ事になります、よしや幸ひに死を免れたにしても子宮に故障のある人は白帶下が附物で、此病を有なるおりものゝ爲に、大切な子宮を、姙娠する事がある子胤が育たず偶に姙娠しても得る望みはありません。昔は三年あつても流產又は早產、死產等に終つて十中の八九は滿足に嬰兒を子なき妻は去ると云つたが、今でも久しく子供がない爲に良人が放蕩をし出すとか、妾を置ふとかして家庭に風波は絶えず、遂に離緣になるなど云ふ悲慘の例は決して珍しくありません。一體身體さへ健康な人なら結婚後二三年の中には必ず

◎子供が出來ねばならぬ筈なのであります。それが幾年經つても姙娠せぬのは要するに生殖器に故障があるからで、其原因たる子宮の疾患を除きさへすれば、病苦を去ると共に、やがて子寶を得られるから、ツマリ二重の喜びを見ることが出來るのであります。然るに世間には子供は天の授かり物で出來ると出來ぬとは前世からの約束事だなどと悲觀して、手當も施さずにゐる人がありますが、是等は近世の醫學を無視した自暴自棄の沙汰と謂はねばなりません。そんならドウして此病を癒すべきかと申せば、婦人病を治療すべき藥として、彼の有名なる下山藥學博士はじめ專門五大博士が本邦最優の婦人藥と推賞證明せられたる命の母を服用するのが最も完全確實なる治法であります。

◎命の母の偉効は既に十數年間幾多實驗者の等しく認むる所でありまして、今や内地は勿論遠く海外に波及し既に世界的婦人藥として治病姙娠の喜びを得たとの謝狀を寄せらるゝ方は實に數へ切れぬ程あります。論より證據效に掲げたる寫眞もその生きた一例であります。次に（おりもの）の非常に強い婦人病者は、命の母を内服すると同時に、一層治療を迅速にする爲め外用藥として膣部に『テギナ球』を挿入する必要があります。『テギナ球』は洗滌する手數や危險は更になく、つてゐる間に不知々々治療の目的を達する事が出來ます、されば世の婦人病者は命の母を内服すると共に最新最良の『テギナ球』を用ひ内用外用相俟つて一日も早く治療せられん事をお勸めします。此際『婦人病者の心得』と云ふ本を一讀する必要があります本書には姙娠及び不姙の生理的原因、婦人病一切の治療法、産前産後の心得に至るまで洩れなく含んで含めるやうに詳しく說明してあります。本書御入用の方は左記命の母本舗へハガキ又はこの新聞に五厘切手を貼つて御申込み次第無代にて送呈致します。

■國内服藥命の母藥價…一日分二十五錢…二日分五十錢…四日分一圓…一週分一圓六十錢…九日分二圓…二十四日分五圓…五十日分十圓…百日分二十圓
■國外用藥テギナ球藥價…七日分一圓…十五日分二圓…二十五日分三圓…五十日分五圓…百日分十圓（兩藥共全國各地の藥店にて販賣して居ります）加減命の母藥價は約二割増

東京京橋區新榮町四丁目 電話京貳〇〇番 振替東京五〇五〇番
笹岡省三藥房
大阪北區本庄中野町 電話東武貳參番 振替大阪參貳八〇番

命の母 主効：流產 產前 產後 逆上 子宮病 血の道 白帶下 月經不順 足腰の冷へ 下腹痛み おりもの 貧血 卵巣炎 腎臟炎 ヒステリー 氣分變り易く 肩の凝り

最新刊

朝鮮職員錄 總督府 二、二〇
提唱碧巖集 下 南天棒 六、〇五
小學校教育改造論 澁谷徳三郎 一、六五
朝鮮司法警察執務提要 宮田弘 六〇
現實生活の基本 村瀨武比古 一、七五
我等の希念す淨る士教 友松圓諦 一、二〇
有利なる是からの企業 佐瀨文哉 二、〇九
英國の王室及議會 田川大吉郎 三、三〇
京城本町一丁目 大阪屋號書店

しんぞう病
如何程難症の當病も効能早き妙藥あり病人助けの爲敎の困難者はハガキにて申込め無料送報す
播磨國明石郡玉津 日輪寺別院

赤玉ポートワイン

晩餐の卓上に

唯一の家族的慰安法として且つ
唯一の簡易的保健法として方今
覺醒せる各階級に最も愛用せらるゝ
美味滋養葡萄酒……